エロスの種子
Seeds of Eros
vol.2
Monden
Akiko
もんでんあきこ
2
集英社

エロスの種子
2
もんでんあきこ

目次

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、一切関係ありません。

第五話 ～産む女

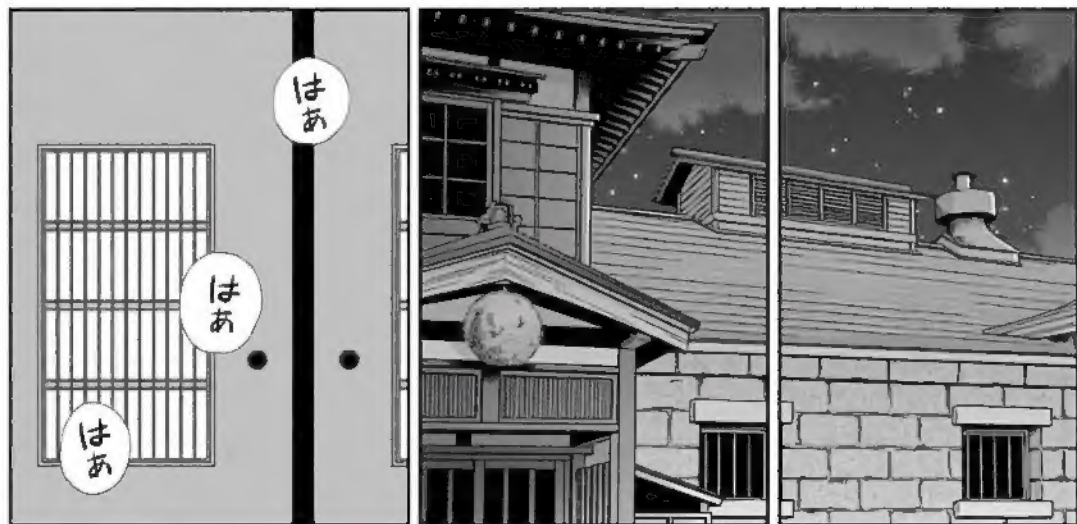
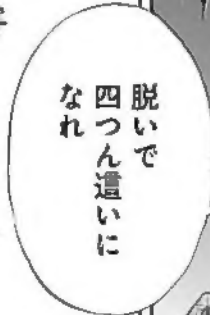
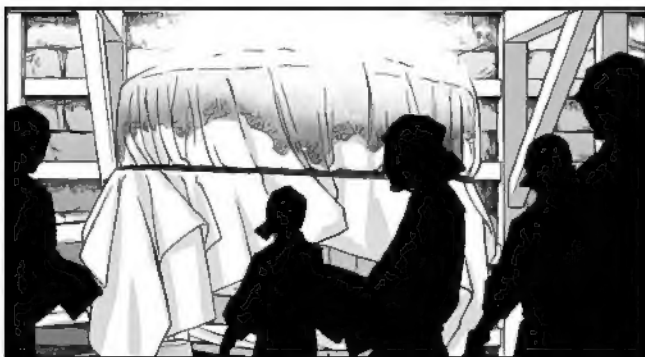
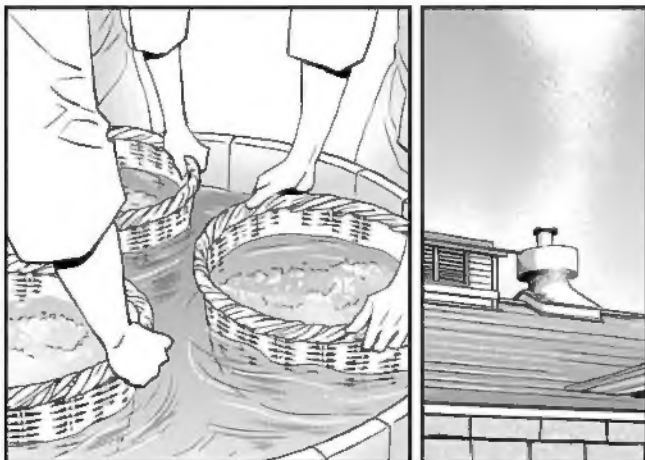
跡取りの男子を産むための

器(うつわ)でしかなかった

第五話 ～産む女
そのために あたしは
この古い造り酒屋に
嫁いできた
ずっとそう
教えられてきた
何の疑問も
なかった

はあ
はあ
はあ
ああ 妙子
大分 上手に なったな
ちょ 待て
もう 出そうだ…

口に出すのはもったいない
ぷは…
脱いで四つん這いになれ
なんだおまえ
もうこんなに濡らしてやがったか

そんなにコレが欲しいか
それ
あ
ああっ…！
おまえもやっと
コレの良さがわかったか
そら こうだ
は
あう
んっ
夫・幸治は
毎晩のように
あたしを抱く

なのに
3年経っても子供ができないのは
あたしが悪いんだろうか…
うん いい塩梅ね
若奥さん この菜っ葉はどうしましょう

今日のは少し固いから気持ち長めにゆでてね
はい
朝ごはんできましたよー
おお
若奥さん大奥さまがお呼びです
何？
すぐにお粥を作って持って来いって…

すみません
あたしのじゃお口に合わなかったみたいで…
わかりました
今作って持って行きます
ひそっ
また始まった

大奥さまの嫁いびり
若奥さんかわいそう
何も この忙しい仕込みの時期にやらなくても…

大奥さまが倒れられてから
若奥さん よく頑張ってるのに
そうそう
ボンボンの幸治さんが遊んでばっかりで今じゃ若奥さんがいなくちゃこの蔵 回っていかないってのに

若奥さん
蔵を仕切るには申し分ない人なんだけどさぁ
やっぱり子供ができないってのがね…
妙子です
お粥お持ちしました

あつっ

妙子さん
こっちにいらっしゃい
はい

手をお出し
はい？

どぼぼ
あついっ
ほら熱いでしょ
口の中の皮膚はもっと薄いんだよ
作り直しといで
はい
下がる前に ここ片付けて

なんだい その目は 産まず女の くせに
ズキン ズキン
気に入らなかったら いつでも出てって いいんだよ

ううっ
ジャー
どうしました
妙子さん
あ
塚本先生
すいません
往診の時間でしたね
今お茶を…
いいから
その腕をお見せなさい

ああ　こんなになっては
もう冷やしても遅い
後で水ぶくれになりますよ

炎症を抑える薬を塗りましょう
包帯も…

ドキドキ

あの…義母の具合は…
貴子さん体力は順調に戻ってますよ
もうすぐ床払いできるのではないかと

しかし心臓の働きは弱くなってきてます
次に大きな発作が起きれば その時はもうそう永くは…
びくっ!
すみません 痛かったですか
あ いえ…
初めて正面から見る塚本先生のお顔…
先生の目…

不思議な色をしてらっしゃる
お髪もそういえば…

祖父がロシア人だったそうです
樺太から引き揚げてくる時に離ればなれになって…

私は
一度も会ったことがないけれど…

ああ

これは
なんという感情だろう
その怪我
お袋にやられただと!?
あのババァ同じ目に遭わせてやる
旦那さま待って
そんなことしたらお義母さま死んでしまいます
あたしが悪いんです!

あたしに子が
できないから
お義母さま
あたしを早く追い出して
次の嫁に跡取りを産んで
もらいたいと思ってる
ご自分の目が
黒いうちに…
妙子
心配すんな
この先 子が
できなくても
俺は絶対
おまえを
手放さないぞ!!

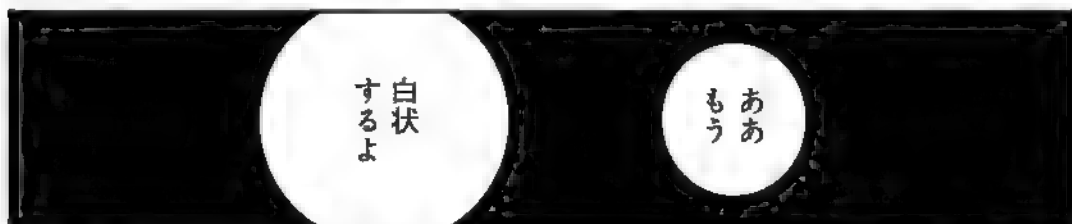
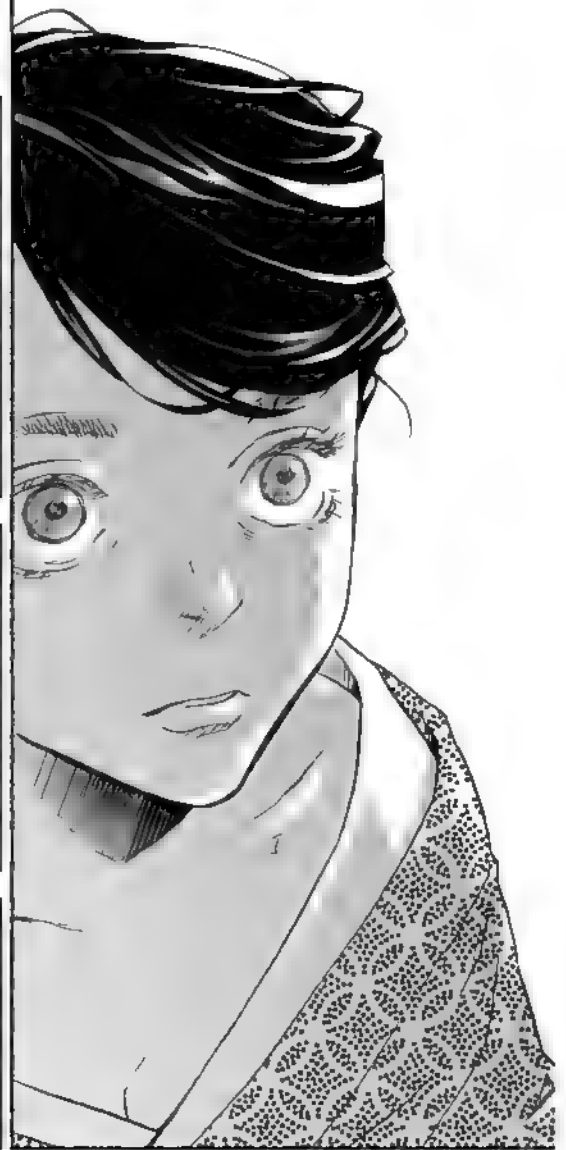
ああ
妙子
かわいい
かわいい

夫のこの執拗な愛撫を
あたしは愛されている
と
甘受してきたけど
あ…

この指が
唇が
もし
塚本先生のだったら…

妙子…？
申し訳ありません
旦那さま
あたしにはあなたの妻の資格がありません

離縁してくださいませ
後生です…

おまえ
そこまで思い詰めてたか…
ああもう
白状するよ
悪いのはおまえじゃない
俺だ
子種がないのは俺だ

学生時代

悪ふざけで自分の精液を顕微鏡で見た

他の奴のは精子がうようよ泳いでたのに

俺のにはなかった

ひとつも

ショックだった

こっそり隣町の医者にも診てもらったが
原因もわからなければ治療法もないと言われた
こんなことお袋にはどうしても言えなくて…
じゃあなんであたしと結婚したんですか…
結婚する気はなかった
お袋にも何度も言おうと思った
だけど
おまえの見合い写真に
目が釘付けになってしまったんだ

そうだ
ひと目惚れた
おまえを嫁にしたい
俺の自由にしたい
その欲には勝てなかった
この男は

は…？
俺の昔なじみに赤間という男がいる
無類の女好きで
あちこちの女を孕ませては
父親が尻ぬぐいに回ってるっていう
ろくでもない男だが確実に子種はもらえるぞ
生まれた子はウチの跡取りとして育てる
それなら
お袋も世間もとやかく言うまい
な？・

スッ
正気ですか…？
あたしを
見ず知らずの男に抱かせようなんて…
抱かせるワケじゃない
子種を
おまえの子宮に入れるだけだ
ぞくっ…

待て
どこへ
行く
妙子
逃げて
どうする
この町で
ウチに逆らえば
行くところなんて
どこにもないぞ
おまえも！
おまえの
身内も!!

行くところなんて
どこにもない

死にたい
ザァー
死ねない

塚本医院

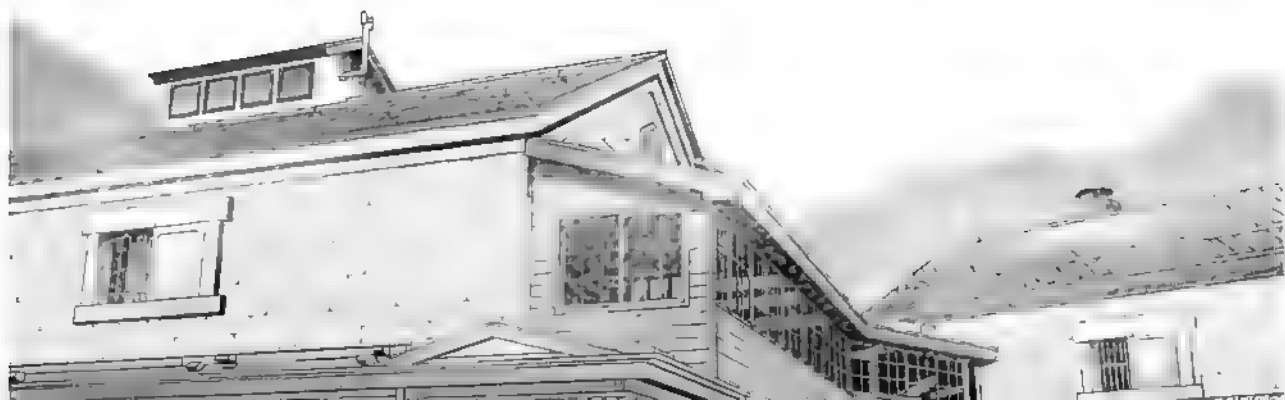
妙子さん

塚本先生
お願いがあります

やっぱり帰ってきた

だから言っただろう おまえの居場所はここにしかないんだよ

この男は

あたしにひと目惚れしたんじゃない

あたしという器に
執着しているだけだ

今夜遅く赤間が来る手筈になっている

おまえは何も心配しなくていい
すべて俺が仕切ってやるからな

きゅ
え…
なぜこんな…
おまえは赤間の顔を知らないほうがいいし
赤間にもおまえの顔を見せたくない

おまえはただ
尻をまくって
四つん這いになっていればいいんだ

おいおい 幸治

何だ こりゃ

馬の種付けじゃねえんだぞ

でもまぁ
これはこれで一興か

カラカラじゃねえか
あたしは器
可哀相に痛ぇぞ

子を産む
ためだけの
器なのだ

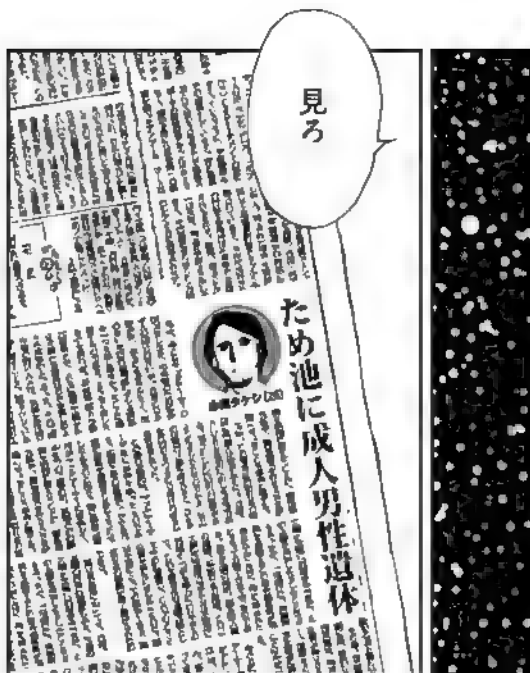
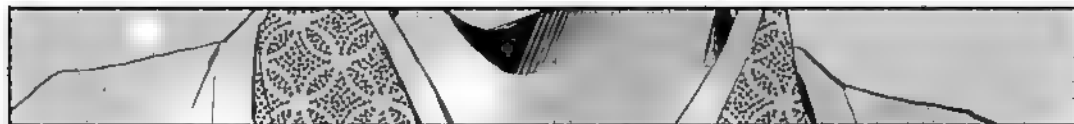
そして あたしは
妊娠した

義母からの仕打ちは止んだが

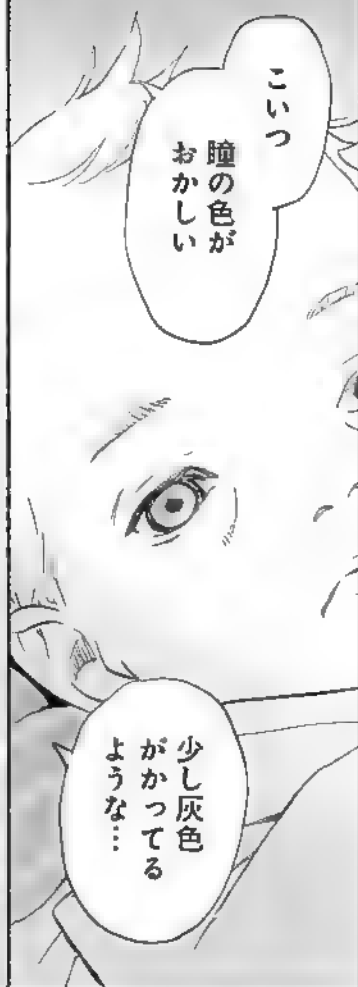
同時に

病床に呼びつけられることもなくなった

見ろ

ため池に成人男性遺体

夏の終わり

蔵が次の仕込みの準備を始める頃

迫田家に
待望の
男子が生まれた
おお可愛いな
全然ヤツに似てないぞ
よかったなー
母ちゃんに似て
でしょうね
ん？

こいつ 瞳の色がおかしい

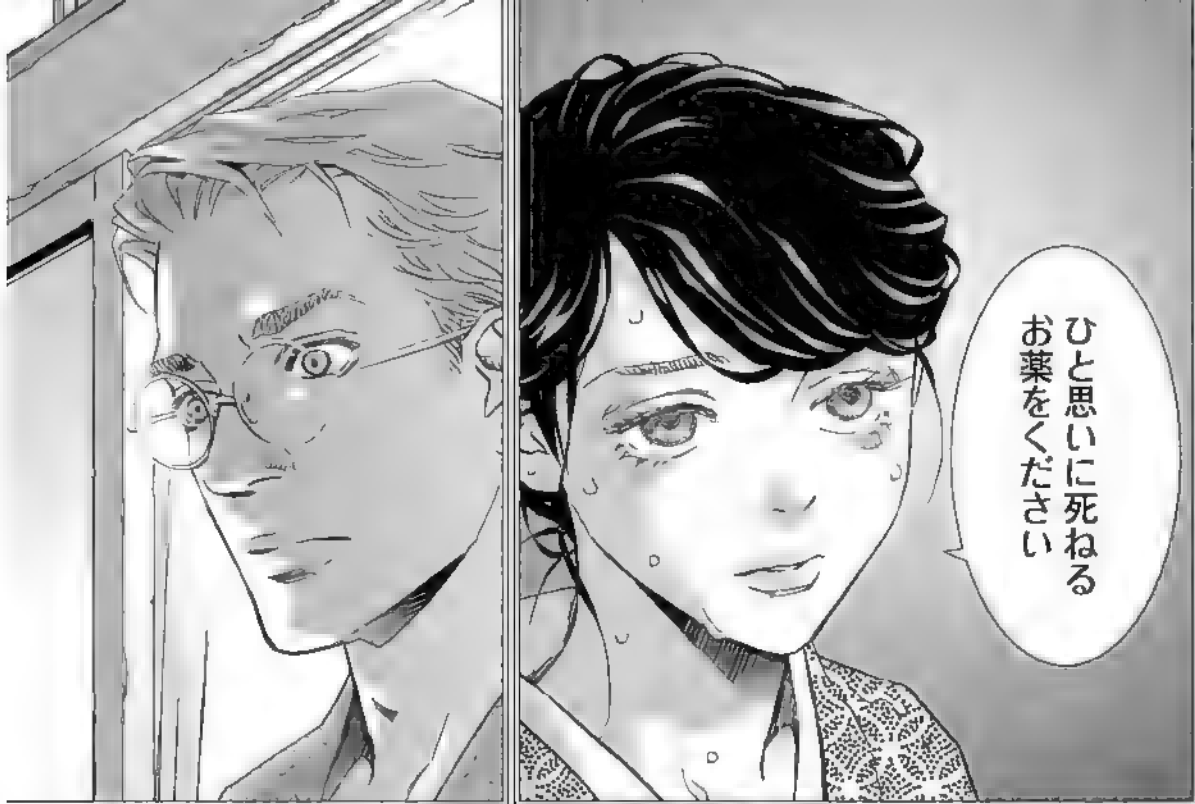
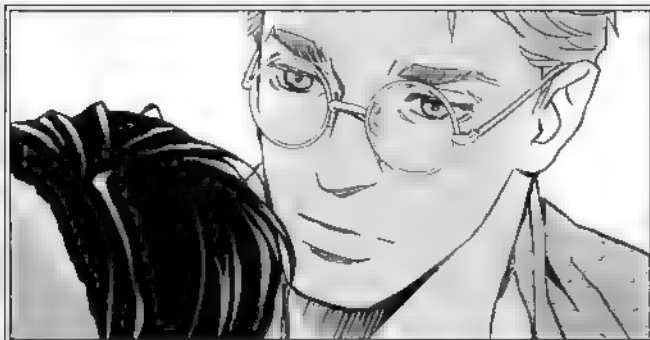
少し灰色がかってるような…

おい

これは…

あの雨の日か
おまえが 一晩 家を空けた…

あの夜 あたしは 死のうとしても 死にきれず
塚本先生の診療所に行ったんです
塚本先生
お願いがあります

ひと思いに死ねる
お薬をくださいい
先生は
死ぬくらいなら
自分と一緒に
この町を出ようと
おっしゃって
くださいました
嬉しかった
……
けれど
あたしの実家の
身内に害が
及ぶと思うと
それは　とても
できない
選択でした
それでも…

見ず知らずの男の子供を身籠もるなんておぞましい
死んでも嫌なんです!!
塚本先生はおっしゃいました
「私の子ではどうだろう」
と
一度妊娠すると
受精卵は他の男の精子を受け付けないのだそうです
あたしは喜んで先生に抱かれました

初めてです
好きな男に
抱かれたのも
気が遠くなる
ほどの快感を
得たのも

その一回で
妊娠したっ
てのか…？
そんな
都合のいい
話があるか

もちろん一度で上手くいくとは思いませんでした
そこでもうひとつ手を打った
殺精子剤です
さっせいし…
これを赤間との行為の前に
あたしの膣に挿し入れておきました
あなた達は あたしを気持ちよくしてやろうなどという気は さらさらなかったでしょう
それも却って良かった

この薬は
確実に赤間の精液で溶けて
子種を殺してくれた

塚本先生とはお義母さまの往診の度に
人目を忍んで逢瀬を重ねました

ふえ…
そしてこの子を授かった

妙子…おまえは…
ふえ————…
え——…ん

あなたにとっては
この子が誰の子であっても構わないのでしょう?
何か問題でも?

おまえという女は…!!
旦那さま大変です
警察が…

ドカドカドカドカ!
主はこの部屋か

タン！

迫田幸治

赤間タケシ殺害容疑で逮捕する!!

さぁ
お乳あげましょうね
バタバタバタ
浅はかで
自分のことしか考えられないあなたのことですもの
完全犯罪は無理だと思ってました
待ってください刑事さん
何かの間違いです
息子がそんな…

うっ
大奥さま…!?
誰か
救急車を早く…!!
もうすぐ
この家のすべてが
あたしとこの子の物になる

エロスの種子

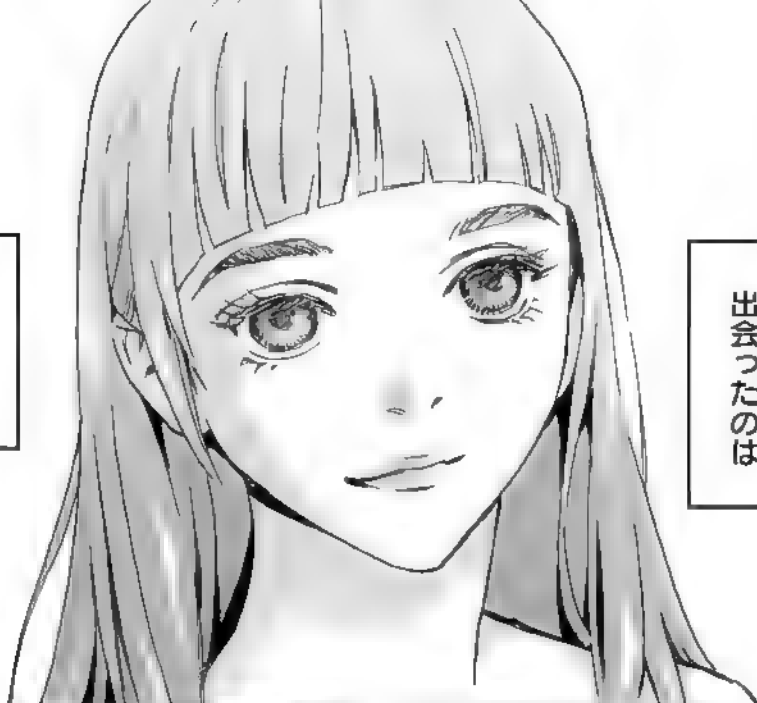
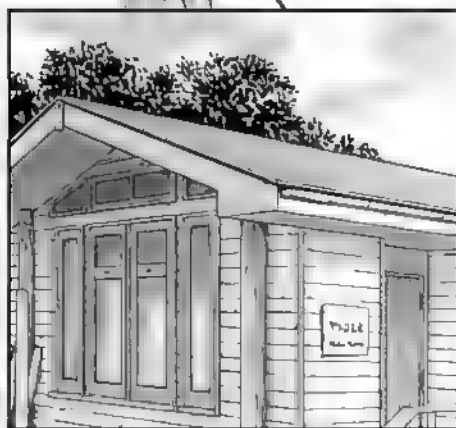
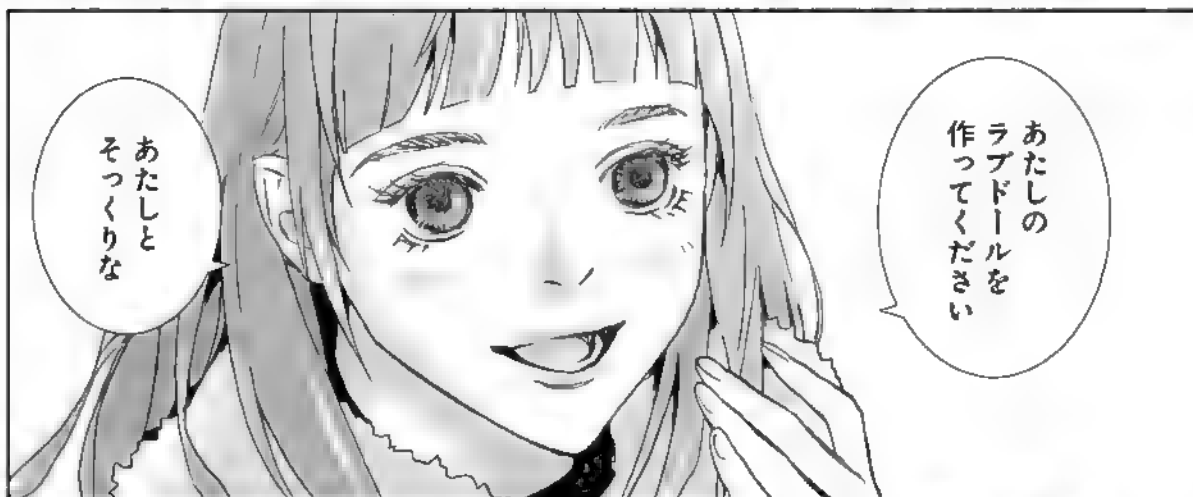
酷い
初体験のせいで
その男の
エロスの種子は
すっかり硬化
してしまった

八代光彦
職業
ラブドール
技師
ずっと
人形しか
愛せなかった
男が
今

第六話 〜ラブドール〜

生身の女と
対峙している
第六話 〜ラブドール

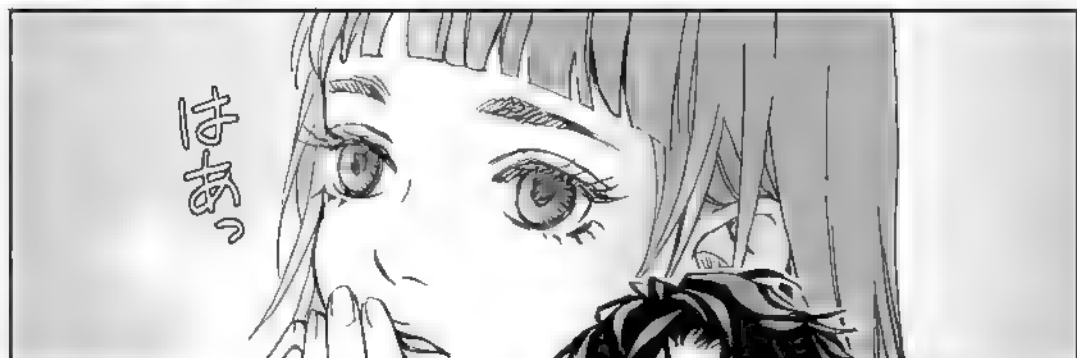
この女
麻生遥と
出会ったのは
ほぼ
ひと月前
カツン
唐突だった
お帰りなさい
八代先生
Atelier Yashiro

誰…？
せんせい？

初めまして
麻生遥って
いいます
八代先生に
どうしても
お願いしたい
ことがあって…

あたしの
ラブドールを
作ってください
あたしと
そっくりな

俺は先生
じゃない
ただの
下請けだ

注文なら親会社の
ウエスト商店の
ほうに…
そのウエスト商店に
ここの場所
聞いてきたの

先生の【天使タイプ】のファンなんです
お代はいくらかかっても構いません
モデルの協力も惜しみません
だから…
帰れ
バタン
はあっ
ちょっと西尾社長
なに人の住所勝手に教えてくれてるんすか

だっておまえ
女だぞ!!
生身の!!
しかも若くてかわいい!!
その上おまえのドールのファンだなんて
そんな奇跡あるか!?
パス出すしかあんめーよ
おい八代
聞いてんのか!?
プツッ
ふう
ウエスト商店はアダルト雑貨を製造していたのを
ラブドール一点に力を入れるようになって急成長した会社だ
ウエスト商店

ユーザーのニーズに合わせてラインナップを揃えたのがウケた
OLタイプ
それぞれ別の技師が設計と仕上げを受け持っていて
JKタイプ
人妻タイプ
俺は
天使タイプを作っている
女の生々しさが苦手なユーザーに向けて

まさか
女からのニーズがあるとは
思わなかった

ガチャ!
あ…
はくしゅっ!
いつまでそこにいる気だ
八代先生があたしの注文請けてくれるまで

ひとまず入れ
そこで凍死されたらかなわん

うわー…
こうやって
先生の天使ができてるのね
だから俺は先生じゃ…
まあいいや
ほら
これ飲んであったまったら帰れ
ココア…

あったかい…

甘い
美味しい

なんで

自分そっくりの
ラブドールが
欲しいんだ

ウエスト商店の
ショールームに入ったのは
興味本位だったけど

八代先生のドールに
ひと目惚れしちゃって

欲しくて
たまらなく
なったの

あたし
自分が大好き
なんです
好き
過ぎて
自分で自分を
愛してみたく
なっちゃって

ふうん…
なんちゅー
ナルシストだ

キミとそっくりに作るには
身体を型取りすることに
なるけど
全裸で
身体の隅々まで
特殊樹脂
塗られるんだ
抵抗
ないのか
そんなの

そんなんじゃ ないっすよ 西尾社長

気があるのは 俺の天使タイプで

直にラブドール 発注されただけです

えー

なんだよ それ

そういうワケで そっち優先で 作業するんで

天使タイプの受注は しばらくセーブして もらえます?

え!!

あんたが 紹介した客 でしょう

う…

よし
定期
メンテナンス
終わり
今月は
雑に触る客が
多かったんだね
みんな疲れた
顔してた

おまえ
ほんと
ドールには
優しいよな
人間には
冷たいけど

ウェスト商店
ショールーム
◀◀◀2F
材料が揃ったら
連絡する
ケー番
教えて
あ
これ…
仕事の
名刺です
ふる
ふる
フリーライター
麻生 遙
Asou Haruko

というワリに
手が震えてたな…
全然平気
キミの体型に合わせた骨格をウエスト商店に発注したよ
これが出来てからキミの型を取る
一ヵ月くらいかかるかな
麻生さん?
八代です
一か月…
一か月も…
わかりました
よろしくお願いします

そして
ひと月が経った
ああ
これは
自分が大好きなのもわかるな…

ピピッ
写真撮るの？
カシャ
仕上げの時に必要なんだ
キミの肌の色合いを忠実に再現するのに
カシャ

リラックスして麻生さん
ドールの表情も固くなる
じゃあ八代先生
お話しながらでもいいですか

先生は
ずっと
お独り（ひと）なんですか

見たところ
先生は　この工房で
ひとり暮らし
女の気配は
ない
寂しく
ないですか
生身の女は
嫌いだ
嘘をつく
からな
キミからも
嘘の
においがする

カシャ

ショールームで先生のドールにひと目惚れしたのは本当
その帰りがけに先生の姿を見かけたの

ドールのメンテナンスなんだと思うけど
その姿から目が離せなくなった

なんて優しく繊細に
ドールを扱うんだろう
って

あたしは そんな八代先生に
あたしのドールを作ってもらいたいって思ったの

型を取るよ
少し冷たいけど我慢して
びくっ！
あ
大丈夫
続けてください
先生の天使のモデルもこうして型を取ったの？
モデルはいない 完全オリジナルだ
え
モデルなしであんなにリアルに
すごい！

生きた人間から型を取るのは　実は初めて
わあ先生
それすごく嬉しい
次に
顔だけど…
いや　やめておこう
人の顔の型を取るとどうしても表情が死んでデスマスクのようになってしまう
俺が一から作ろう

すみません

身体が冷えて動かなくなっちゃって……

早く言ってくれれば

途中で休みを入れたのに!!

どこか悪いんじゃないのか
いえ大丈夫
少し暖まれば動ける…
ああ
あったかい……

俺の熱が
じわじわと
腕の中の女に
伝わる
しゅん
しゅん
しゅん
しゅん
しゅん
俺の熱は
奪われるどころか
身体の中心から
滾り続け…
先生…
勃ってる…
ああ
これだから
男は…

俺は
女が嫌い
というより
自分が
嫌いなんだ
美大の
ゼミの先輩から
言い寄られた時
断ったら
その場で
押し倒された
無理矢理
やられた
男のほうが
力があるのに
無理矢理って
おかしな話だと
思うだろ
抱きたくもない
女なのに
触られれば
大きくなる
挿れられれば
感じる
そんな自分が
嫌で嫌で
たまらなかった

先生は
悪くない
その先輩
断られた腹いせ
なんだろうな
噂は
あっという間に
広がって
俺にレイプ
されたって噂
流したんだ
俺は美大に
いられなくなった
悪くない
……!!
いいとか
悪いとかじゃ
ないいんだ
男って
そういう生き物
なんだよ
性欲に支配されて
どうしようもなく
なる時がある
だから
ラブドールの需要が
あるんだろうな

あれは
ウエスト商店に注文した
キミのドールの骨格だ
股間に穴が
空いてるだろ
そこに脱着式の
オナホールを入れる
仕様になっている
キミのは
どうする?
直に作り込む
こともできるし
何も形成せず
仕上げることもできる
直に作って
ください
できれば
有り物じゃ
なくて
あたしの形を
忠実に

なんて
ああ…
いやらしい…
こんなに濡れては
型取りができない…

型じゃなくて
先生の記憶で
作ってください

女も
同じです
自分では
この中から
溢れ出るのを
どうしようも
できない

麻生さん
……
遙って
呼んで
はるか
……

先生
膣の形も
確かめて
欲しい…

俺の中の
すっかり
硬化していたモノが
はじけて
溶けていくのが
わかった

遥
びく
あ
びくっ
ここ
すごいよ…
はうん
ああっ
先生の
敏感な
ところで
あたしの
奥まで
全部
感じて
……っ
くっ

ああ
命ある肉体の
なんと美しいことか

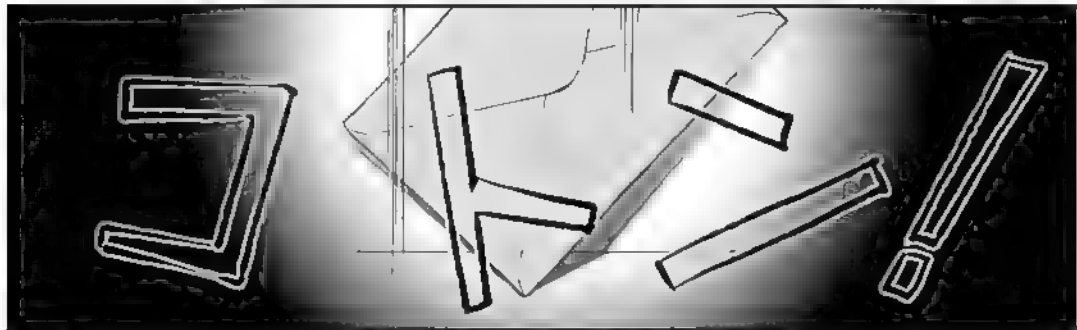
ヤン…
あ…
灯油が切れたか
スッ
あたしこれで帰ります
もたもた
随分ゆっくりな着替えだな
泊まっていけばいいじゃないか

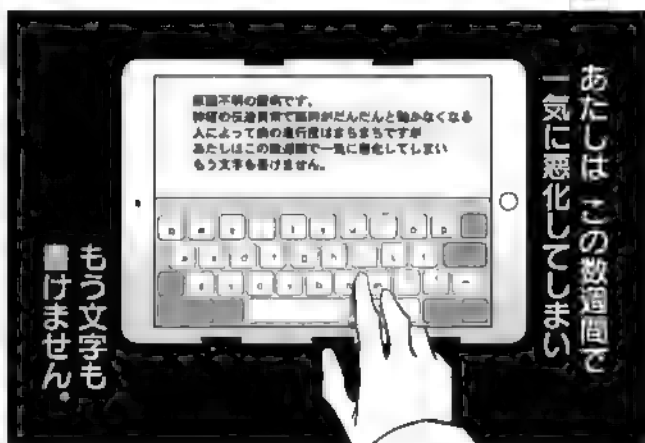
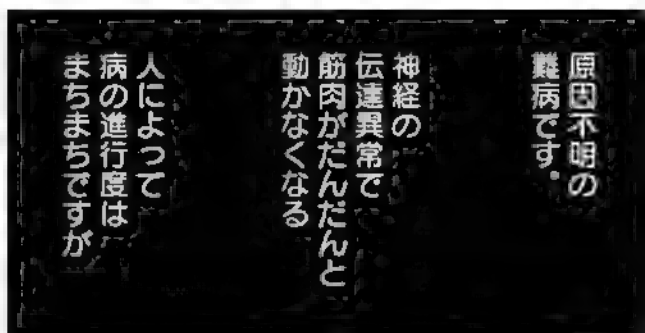
ありがと
先生
そうしたいのは
山々だけど
あたし明日から
出張なんです
長期でケータイの
使えないとこに
行くんだけど
仕事が終わったら
真っ先に
ここに戻るから
それまでに
あたしのドールが
できてるといいな
楽しみに
してる
じゃ
おやすみ
なさい

それから

寝食を忘れて
ドール作りに没頭した

そうはいっても
ディテールにこだわる余り
ゴールが見えるのに優に一ヵ月はかかった
ああ
この顔だ

あたしは
そんな
八代先生に
あたしの
ドールを作って
もらいたいって
思ったの
俺は
この顔に
やられたんだ
遙
早く
俺に
会いにきて
くれ…
コトー…!

普段気にならない
郵便物の音が
やけに響いた
味気のない
印刷の宛名
差出人の
名前はなし
文面も印刷
八代先生ごめんなさい
あたしは嘘をついていました

先生があたしの体調を気遣ってくれた時
何でもないフリをしたけど
実は、
あたしはALS患者です。
ALS…
原因不明の難病です。
神経の伝達異常で筋肉がだんだんと動かなくなる
人によって病の進行度はまちまちですが
あたしは この数週間で一気に悪化してしまい
もう文字も書けません。
末期には
自力で息ができなくなり
心臓が止まります。

出張も嘘です。
先生のところに戻ると言ったのも嘘です。
本当にごめんなさい。
でもどうしても
先生にあたしを知ってもらいたかった。
先生のラブドールにひと目惚れして
その直後に先生にひと目惚れしました。
自分自身のドールを作って欲しいというのは口実です。
あたしを見て
触って
隅々まで
あなたの記憶に刻まれるよう…

出来上がったドールの扱いは先生にお任せします。

はあっ

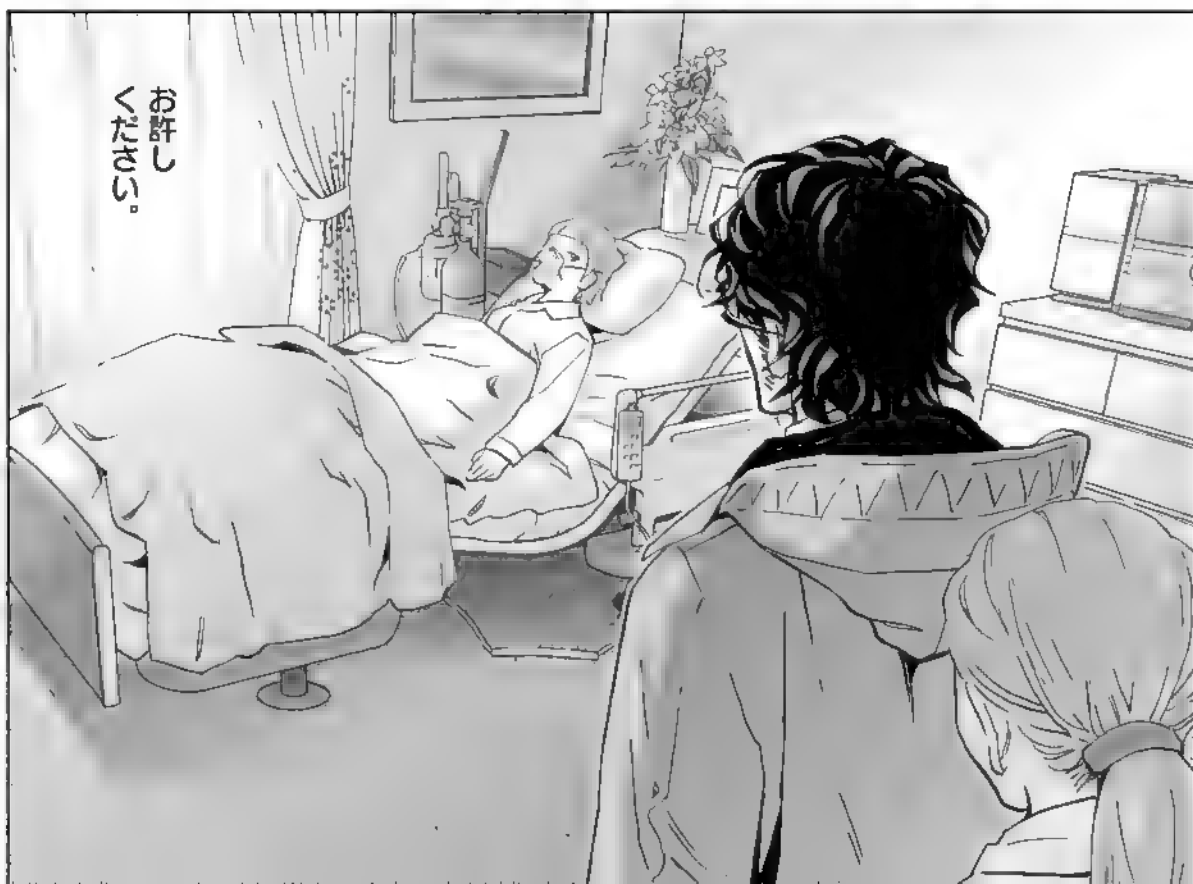
代金は下記住所に請求書をお送りください。

母が私の通帳から支払う手筈になってます。

麻生

この手紙は
あたしが死んだら
発送するように
母に頼みました。
八代先生
ですね
お上がり
ください
こんな形でしか
事実をお伝え
できないことを
どうか
ガチャ

お許し
ください。

しゅー……
しゅー……
う…
そ……
ああ
やっぱり
母親なら
キミが死ぬ前に
手紙を出すはず
だと思った
遥
キミの嘘は
全部許すから…
娘は私の
介護負担を
考えて
人工呼吸器を
付けようとして
くれません
八代先生の
口から
どうか…

人工呼吸器を付けてくれ
一分一秒でも永く
俺と一緒にいてくれ
はい…
透は
それから半年を生きた

声を失っても
意思を伝える
手段は
いくらでもある
濃密で
幸せな時間
だった
遙の
ラブドールは
今
ウエスト商店の
ショールームを
訪れる人の目を
癒している
はるか
非売品

エロスの種子

Eros no Syushi of Nonken Akiko

昭和40年代
学生運動の嵐が吹き荒れていた時代
あたしも
その渦中にいた
大学側の腐敗を糾弾し
その後にいる政府を批判し
正義だの
平等だの
反戦だの叫びながら
第七話 〜縄迷宮
ギリ…ッ
学部
臨時
学
帝国主義の手先
破壊せよ
すべ
粉砕

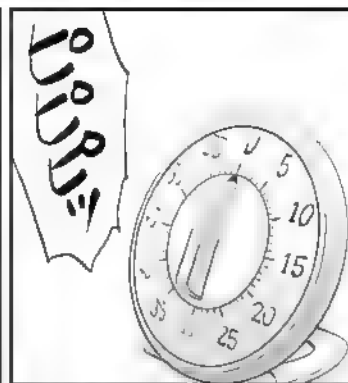
第七話 〜縄迷宮

あたしは今

縄で

がんじがらめに
されている

エロスの種子から
発芽したモノは
刺激を与えすぎると
時に
暴走する
辛くないですか
椎名さん
いえ…

大丈夫です……

昭島薫
日本画家
…らしい
とても
売れているようには
見えないが
金回りはいい
物語に
出てくるような
古いお屋敷から
六畳一間の
現実に戻る

パタン
そこには
学部セクトの幹部
森川浩介が
待っていて
脱げ
問答無用で
あたしを
抱く

紅潮して

浮き出るのに

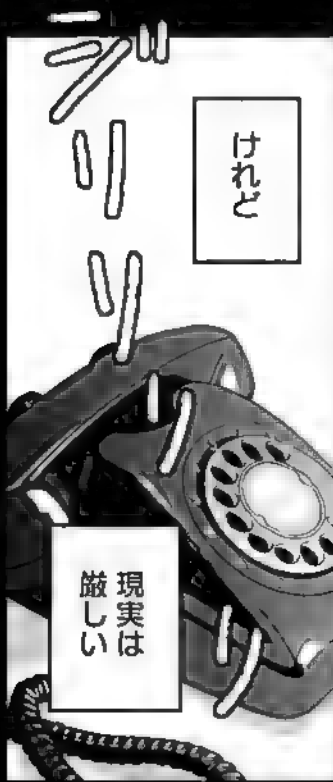
興奮してるのだ

浩介と出会ったのは
あたしがW大に入学して間もない頃
学生運動の中心にいて
盛んにアジを飛ばしていた
正直内容はよくわからなかったけど
そのパワーと
まっすぐな目は
※アジる…アジテーション。扇動。

田舎から
東京に出てきた
ばかりの小娘が
夢中になるには

充分すぎた

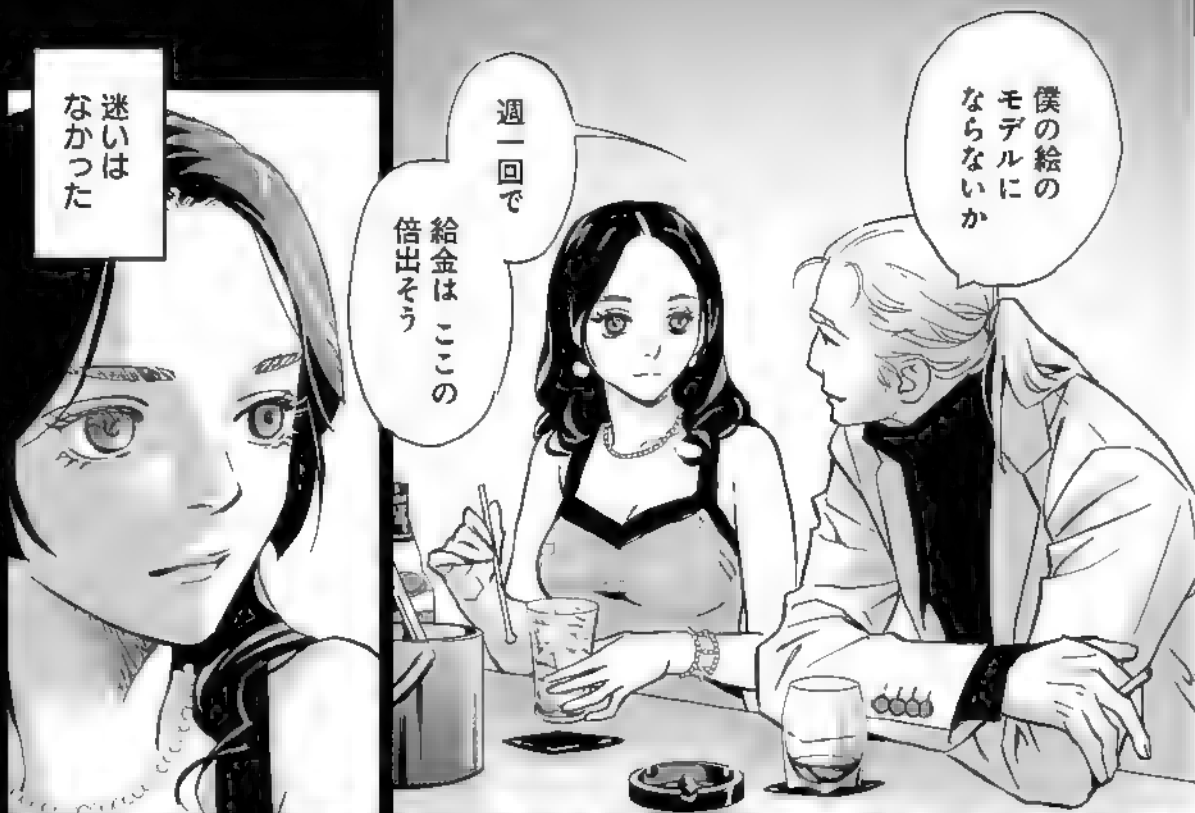
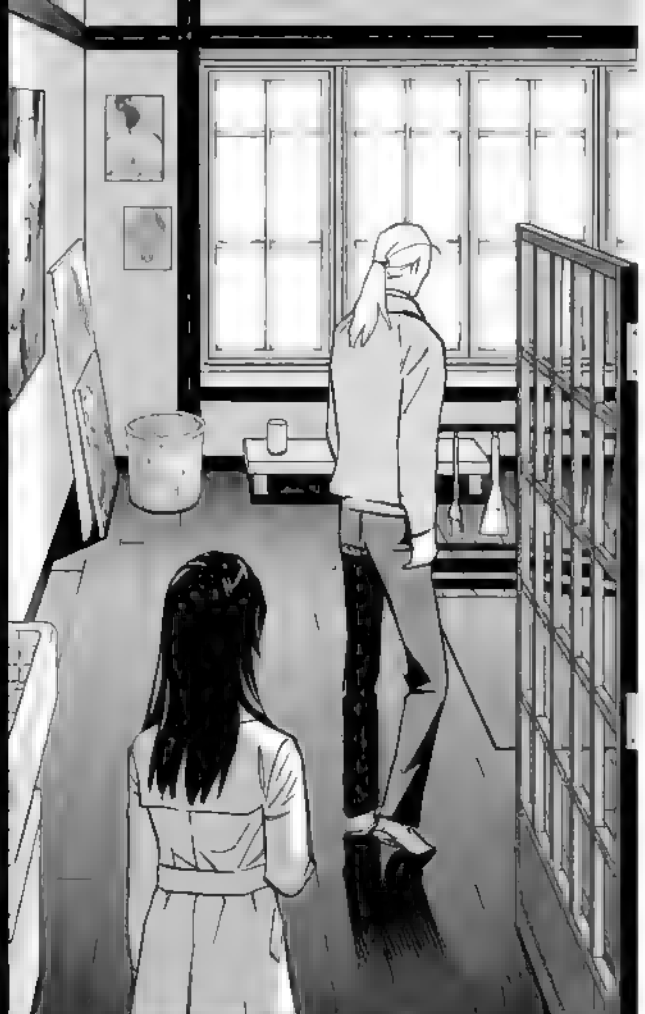
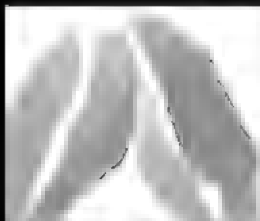
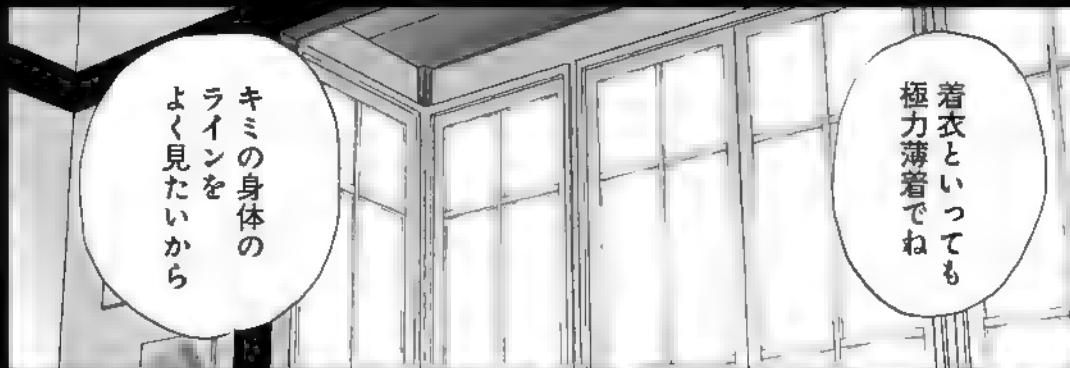
初めての
恋

初めての
同棲生活

夢見心地だった
ジリリ
けれど
現実は厳しい
なんねお母ちゃん
え？
後期の授業料？
大学から催促？
ごめん入れ忘れて…
大丈夫やけん
ちゃんと払っとくけん
ギー…

大学の学生寮から
あたしのアパートに
転がり込んできた
浩介は
タン
とにかく
すまない
順子
今書いてる
「新左翼論」
これが出版されたら
まとまった金が入る
生活費を一切
出さなかった
それまで
我慢してくれ
順子
頼む
あ…
当然
親の仕送りだけじゃ
足りない

Cabaret
VENU
あたしは
夜のアルバイトを
始めた
ドッン！
あっ！
タラタラ
歩いてないで
邪魔よ
何よ
その顔
W大生だからって
お高くとまり
やがって
動きは鈍い
愛想はない
客商売なめん
じゃないわよ

それが
昭島　薫だった
昭島さん…
おひとりですか？
この店のオーナーとは懇意でね
たまに来ては割安でいい酒飲ませてもらってる
女の子抜きで
もた
もた
確かにキミ
接客業には向いてないね

僕の絵のモデルにならないか
週一回で給金は ここの倍出そう
迷いはなかった
すごいお宅ですね…
祖父から譲り受けたんだ
古くて手入れが大変だよ
え？ ひとり暮らし…？
いや 僕ともうひとり…
ワーン ワン！

きゃ！
こら
ニキータ
吠えるん
じゃない
大事な
お客さまだ
まさに
この子との
ふたり暮らし
だよ
ブルジョワジー
だった
はっ
はっ
はっ
大丈夫
一度
キミを覚えたら
もう吠えたり
しない
浩介が
目の仇に
している…
ここが僕の
アトリエだ
ガチャ

あの…
モデルって
まさか…
ああ
できれば
ヌードがいいけど
着衣のままでも
構わないよ
無理強いは
しない
その気になったら
言ってくれ
特別手当を
出すよ

着衣といっても
極力薄着でね
キミの身体の
ラインを
よく見たいから
しゅる…
えっ？
縄…!?
キミの身体の
ラインを強調する
のにいいんだ
ポーズも
固定される
20分
ポージングして
10分休憩
これを3回
辛かったら
言ってくれ

なんだ
このアザは!!
画家のモデルに
なることは
許したが
縛られた
だと?
他に何か
されたんじゃ
ないだろうな
されてない
わよ
なら
証拠を
見せて
みろ

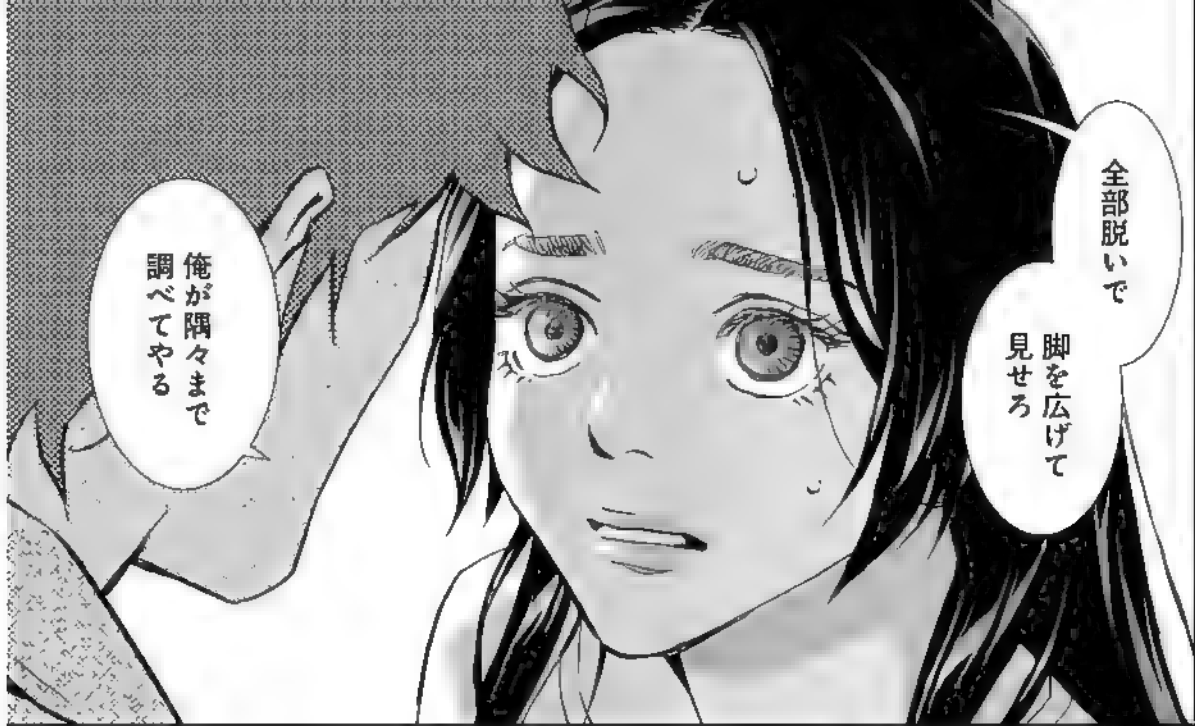
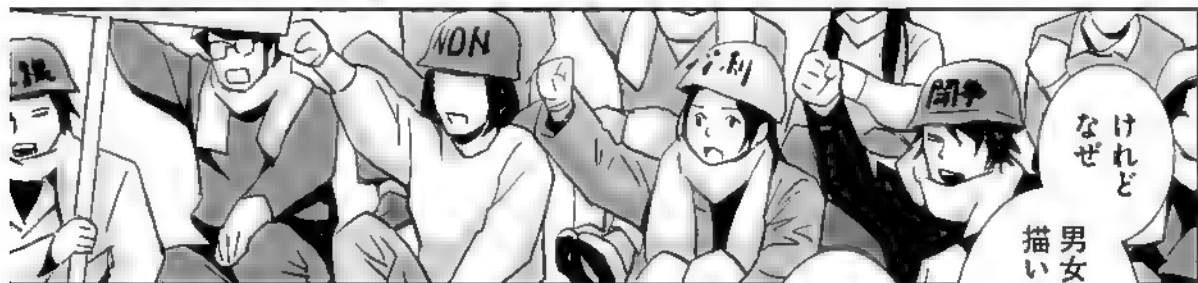
全部脱いで
脚を広げて見せろ

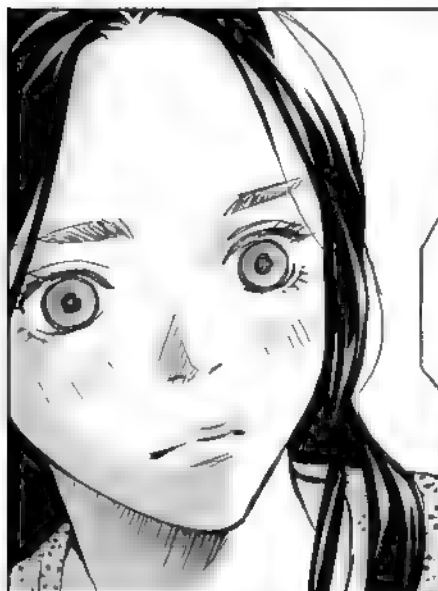
俺が隅々まで
調べてやる

あ

はうっ

ああんっ!

そして今
こうなっている

興奮しているのは
浩介だけじゃない
あたしも
縛られる度に
火照る身体を
どうしようも
できずにいる
僕はね
椎名さん
自分の絵が
今の世の中に
出せないことは
わかってる

けれど
なぜ
男女の性器を
描いてはいけない？
これこそが
人間の命の根源
なのに
昭島の筆先が
僕はただ
人のありのままを
描きたいだけだ
あたしの敏感な
部分を なぞる

ありのままの
人の
熱量を
その度に
うずくのだ
もっと
もっと
刺激を
バダン!!
…と
どうしたの
浩介…
セクトの
リーダーに
手配がかかった
至急
逃走資金がいる

なんとか
ならないか
順子
そんな
今お金の余裕
なんて全然…
その気に
なったら
言ってくれ
特別手当を
出すよ
どうしても
お金が
欲しいなら
明日…
昭島さんの
モデルの日
あたし
脱いでも
いい…？

明日
あたしが昭島さんに
何をされてもいい
って言うなら

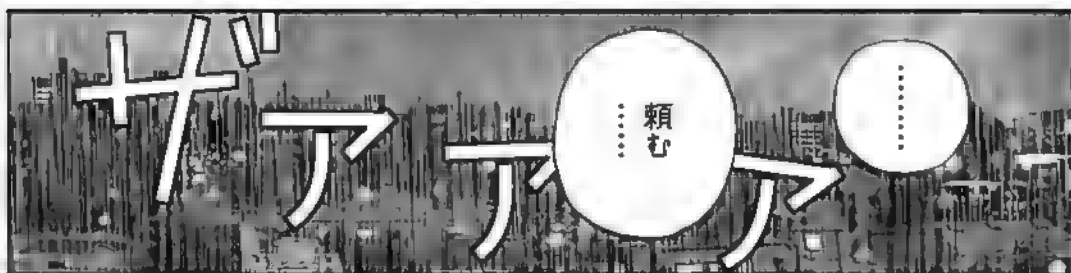
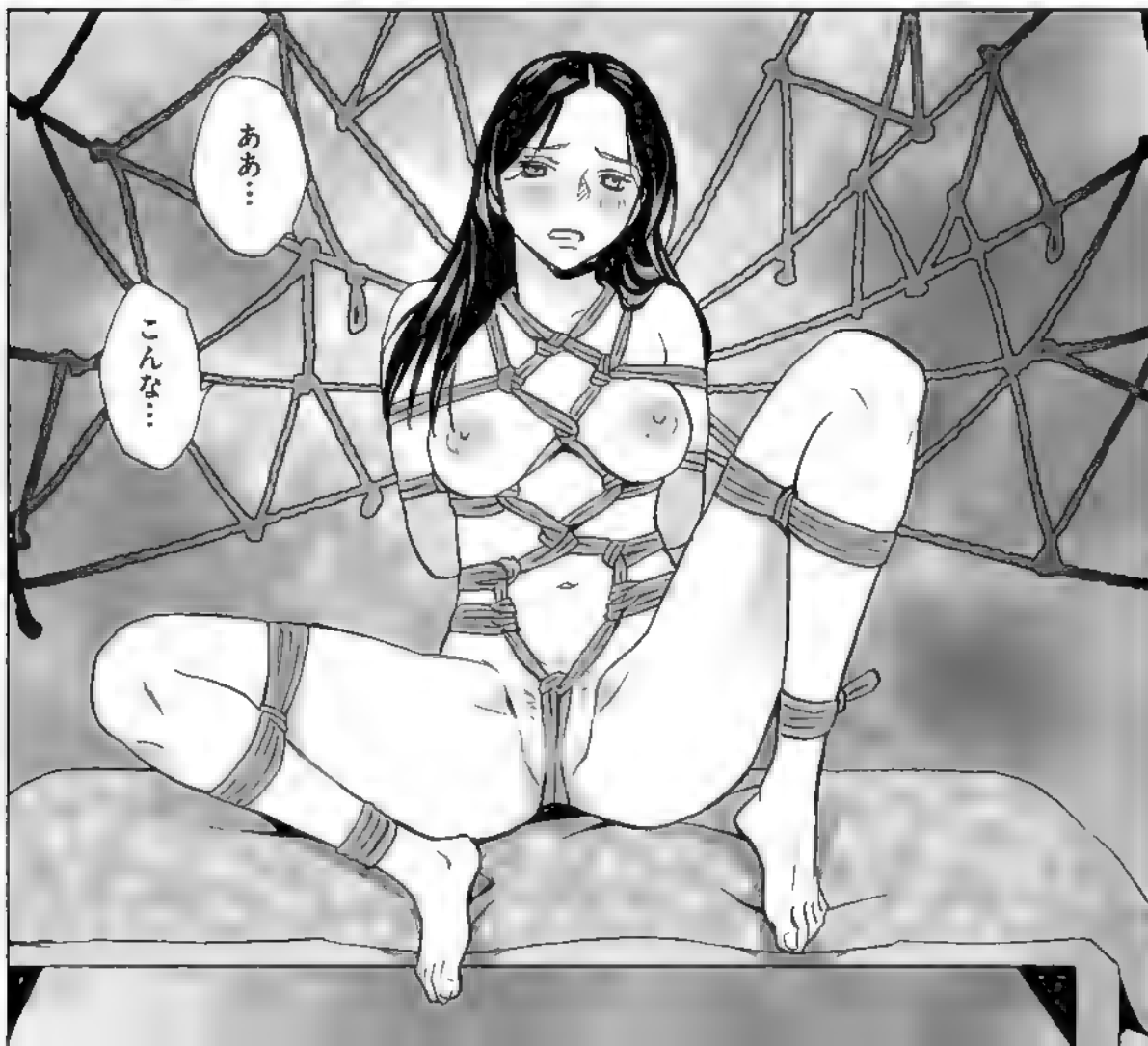
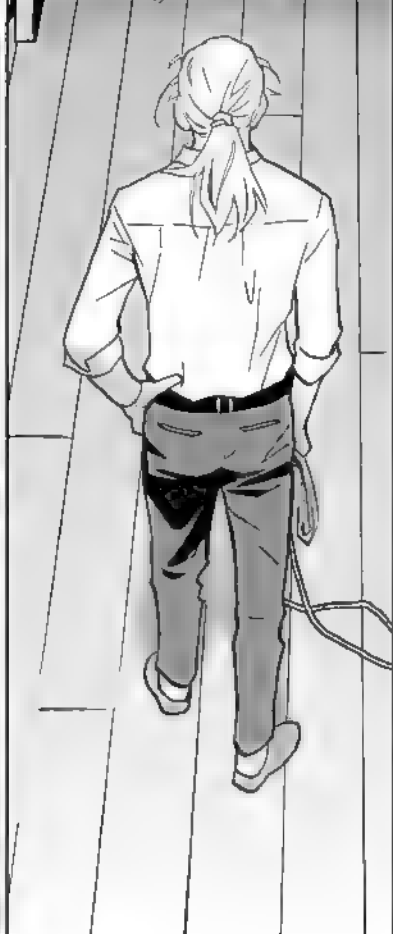
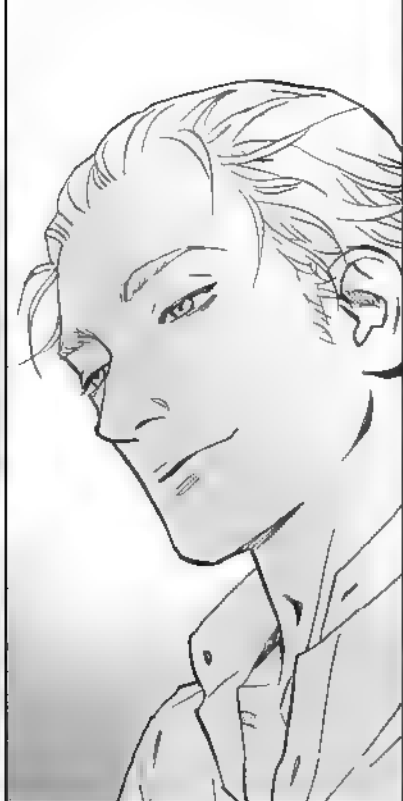
お金

用意
できると
思う

嬉しい申し出だ
椎名さん
よしよし
僕もそろそろキミを脱がせたいと思っていた
お金のためです昭島さん
どうしてもお金が必要なんです
キミの必要なだけ出そう
その代わり
僕の好きにさせてもらうよ

少し辛い姿勢になるけど
我慢して
ギリッ
あっ…

ああ…
こんな…

キレイだ
椎名さん
びくん!
ひあっ!
きゅっ

人の身体は
拘束されると
危険だと判断して
より神経が
研ぎ澄まされる
びく
乳首で それだけ
感じるんだ
ここは どうなる
だろうね
びくっ
はあ
はあ
ワーーーーン
ワーーーン
ワーン
ワーン!!

浩介!!
なんで…!
順子おまえ
なんて格好だ…
いやっ
見ないで……!!
森川くんは
椎名さんが来る
少し前に
ここに来てね

キミのことが心配で
モデルの様子を
見学させて欲しいと
丁度よかった
僕も　もうひとり
男のモデルが欲しいと
思ってたところだ
キミの彼氏なら
申し分ない
上手にキミの
理性を剥ぎ取って
くれるだろう
あ…
いや…

なんだ順子
縛られて感じてるのか
縄が湿ってるぞ
この変態め
ずぶっ
ひあ
あんっ
森川くん
キミも脱いで
全部見せて

やそこダメ…
はうん
浩介いや…
イク…ぅ
イキたくない
や
人前でイクのやあ…っ
拒めないのは縛られてるからで
縛られているのは
金が必要だからだ

椎名さん
キミは何ひとつ悪くない
悪くないんだ
変だ
あたし
縛られてるのに

すべての呪縛から
解き放たれたように

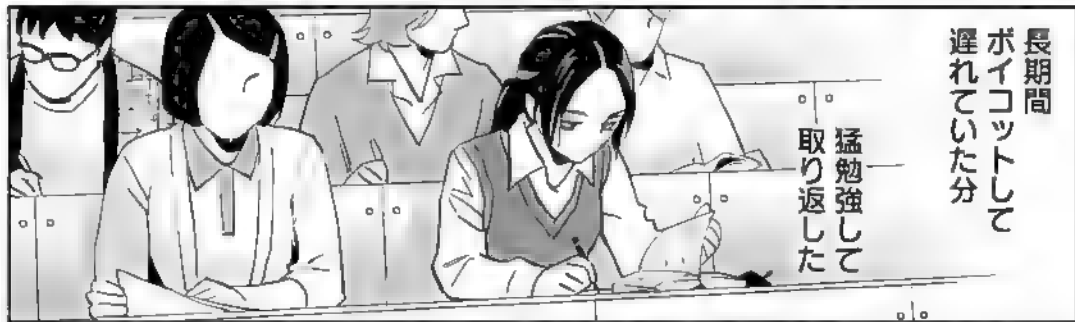
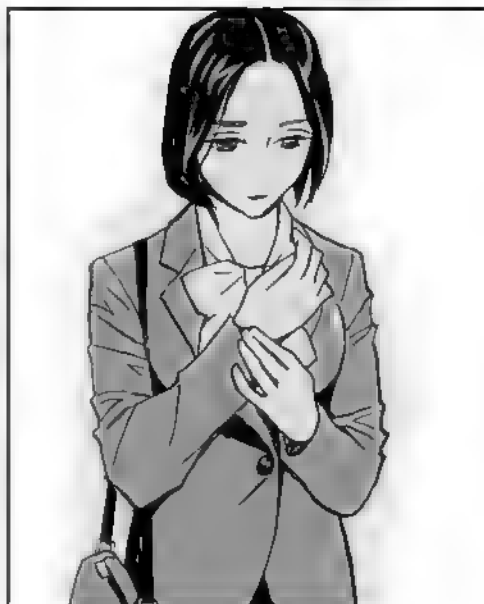
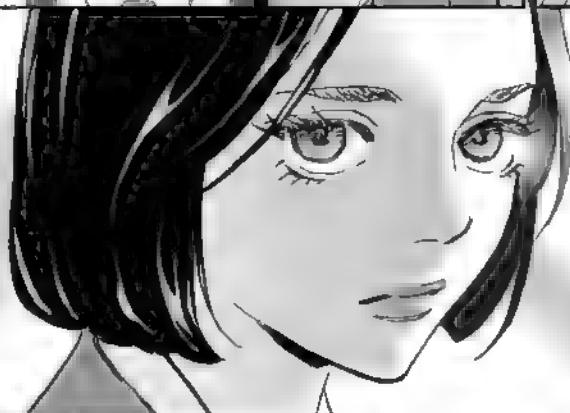
自由だ

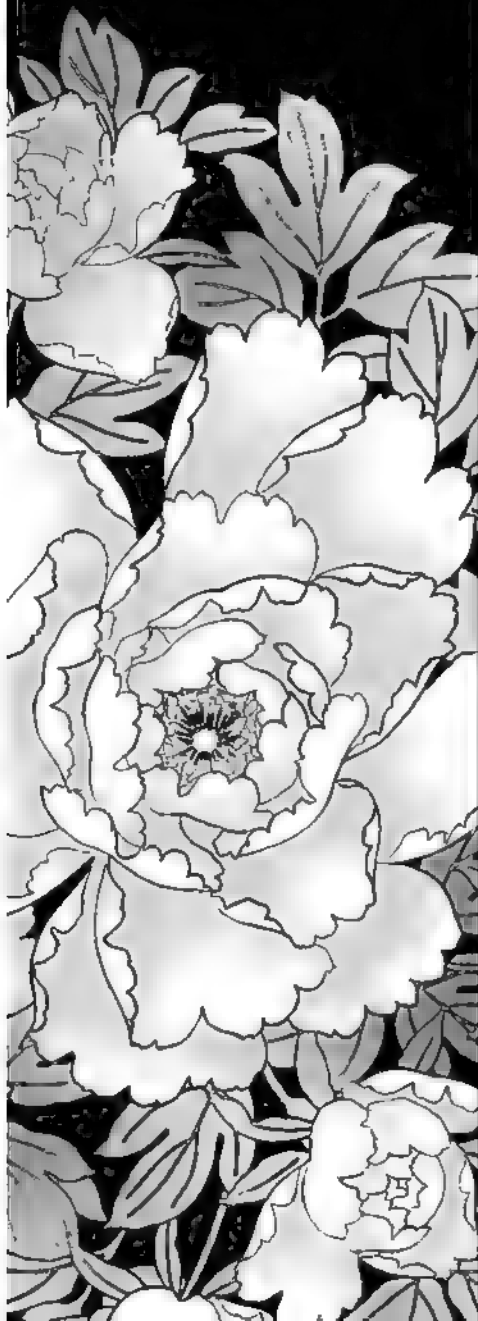
順子…
新左翼とか
打倒ブルジョワジーとか
結局
自分の欲望の前ではどうでもいいのね
変態なのはあなたも同じじゃない

おいで
ニキータ
ねえ
人間て
おかしいだろう
キミ達は
快楽のために
交尾しないからね
強烈な快楽は
麻薬と同じだ

一度その味を覚えてしまったら一生忘れられない
そうだね あのふたりはもう来ないだろう
またあのキャバレーにモデルを探しに行くとするか
賢くてプライドが高くて
世の中に逆らっているようで
実は流されていることに気づいてない

そんな子はすぐ見つかるからね
あたしは浩介と別れ
学生運動からも離れ
大学の授業に戻った
長期間ボイコットして遅れていた分
猛勉強して取り返した
卒業時には
司法試験にも合格し
弁護士の道を歩み始めた

浩介は
学生運動から中核派に入り
今では指名手配犯だ
加虐の快感を
忘れられなかったのか…
ズクン…
あたしも
忘れたワケじゃない

あれから何人かの
男と付き合ったけど
あの快感からは
ほど遠く
結局
長続きせず…
は
んあ
あう
ああ…っ
あの
古い屋敷を
訪ねたくて
あ…っ
たまらなくなる
夜があるのだ

エロスの種子が
咲かせる花は
千差万別
生まれながら
なのか
育ちによる
ものなのか
見事な
大輪の花に
なることもある
第八話 〜落雁

そして この女は
自分が大輪の花
であることを
知っていた
第八話 ～落雁
名を
高梨千代と
いった

昭和20年　5月　東京近郊

この国はもうダメだ

何をどうしても勝ち目はない

ん

あ

その時が来たら俺は腹を切る

それまで千代

うっ

俺を慰めてくれ…っ

キイッ
稲垣閣下
会議のお時間です
車が表に
チッ
タンッ!
三浦
千代を頼んだぞ
はっ
まったく
今更会議をして何になる!

あれほどの
女だ
いつどこで
男が言い寄って
来るとも知れん
私が護衛
ですか…？
その男が敵国の
スパイだったら
どうする！
いや本部内でも
俺の失脚を狙ってる
輩がおるし
まったく
油断ならん
ならば
閣下
もう少し自重
なさっては…

芸妓上がりの
女に入れ上げて
郊外に防空壕付きの
家まで買い与え
昼日中から
足しげく通う
というのは
今のこのご時世
いかがなものかと…
貴様
誰に向かって
物を言っておる
気にするな
三浦
どうせ
もうすぐ
世界は
終わる

三浦さん
はっ

湯を浴びたら出かけます
付いてきてくださる?

はっ!
ガサザッ
子供・・・
さあ踈開
ねぇ
三浦さん

すれ違う人みんな
嫌な顔するの
あたしが高官の
妾だって知ってる
着物着て化粧して
出歩いてる
なのに文句も言われず
石も投げられないのは
憲兵のあなたが
一緒にいるから
助かるわ
あなたが
いなければ
あたし
一歩も外へ
出られなかった
付くのなら
力のある側
じゃないと
ダメね
國民學校

子供たち
かわいそう…
この間の
大空襲で
みんな薄々
わかってるくせに
あんな竹槍
何の役にも
立たないって
高梨さん
口を
慎みなさい

今の言葉は
聞かなかった
ことにします
次はない
いくらあなたでも
自分は迷うことなく
検挙します
くすっ
な
何ですか
なぜ笑う!
くっ
くっ
三浦さんて
ホント真面目
稲垣が あなたを
よこしたのもわかる
気がするわ
あなたなら
絶対
あたしに手出し
しないだろうって

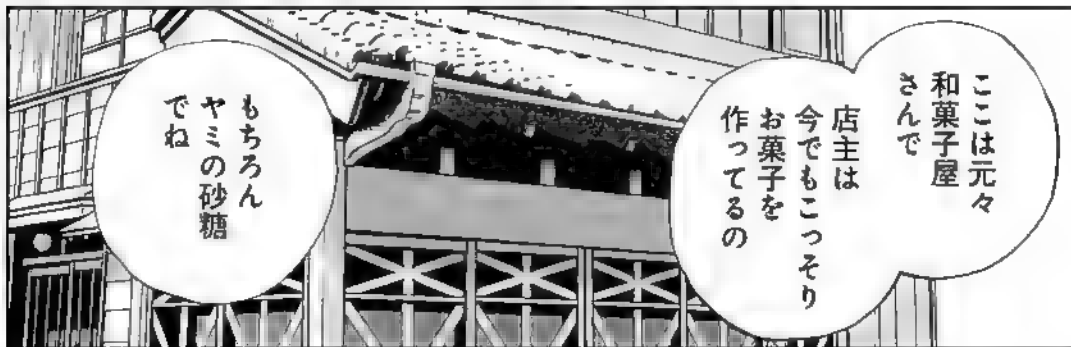
※穀類の澱粉質粉に砂糖や水飴などを混ぜて着色して練り、木型に押して乾燥させた干菓子。

あたしも稲垣の口利きで この落雁が買えてるの
ぐっ
いつもは小間使いに お願いしてたんだけど
彼女 家族と一緒に疎開しちゃって
落雁 お好きなんですか
大嫌いよ
どうぞ 召し上がって

あの
この落雁 持ち帰っても 構いませんか
自分には 10歳になる 男子がおります
もう 2年ほど 甘い物を 食べさせて おりませんで…
どうぞ
ひとつと 言わずこの 箱ごと
いえ それでは…！

あたしの息子は
落雁が大好物
だったの
その落雁を
食べて死んだ
8歳で…
生きていれば
あなたの息子さんと
同い年ね

吐いて吐いて
苦しみぬいて
死んだ
医者が
言うには
誰かが落雁に
殺鼠剤を入れた
のだろうと…

誰が…
そんな…

稲垣夫人よ

夫人には子供ができなくて

稲垣の家にあたしの息子が入り込むんじゃないかって思い込んだらしいの

それは…
殺人ではないですか
謝ってすむ話では…

謝ってすむ話なのよ
稲垣が警察に圧力をかけたから

一度の空襲で何万人も死ぬ世の中よ
子供ひとり死んだところで
警察は軍部の意向に逆らってまで調べてくれない

ねぇ
三浦さん

力を持っている者は
何をしても許されるのね

夜は内側から
開けられない
鍵をかけて帰宅
千代の息子の
月命日には
落雁を買いに出る
千代に付き添い
落雁の
お裾分けを
もらう

さぁ
坊や
召し
上がれ
毒の
入ってない
美味しい
落雁よ

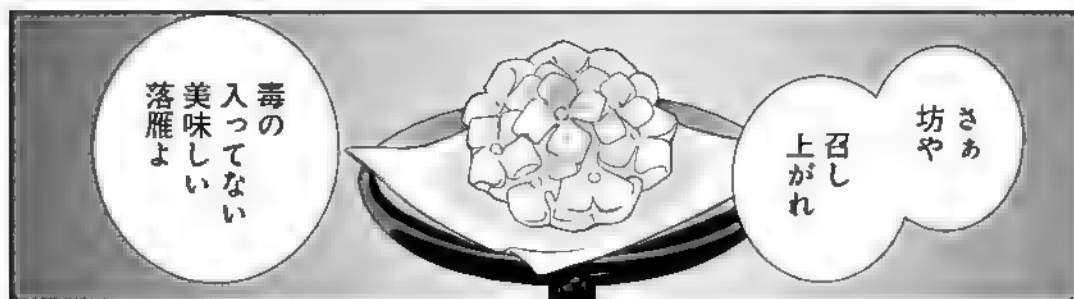
そんな
日常は
空襲警報
発令！
突然
断ち切られた
ウ
空襲警報
発令！

パラ
パラ
パラ
三浦さん この防空壕本当に大丈夫?
遠くの爆撃でこんなに揺れるなんて…
ドオーン!
きゃあっ

三浦さん
今
ここで
あたしを
抱いてください
憲兵

あたし今まで
自分の意思で
男に抱かれたことが
ないの
人生で最後の男が
息子を殺した女の
夫だと思うと
死んでも
死にきれない

お願い
あたしを
哀れと
思うなら…

ズウ…ン

三浦は
千代の中の
あまりの
気持ち良さに
職務も
家族のことも
忘れて
溺れた
空襲警報
解除
空襲警報
解除

はぁ
はぁ
はぁ

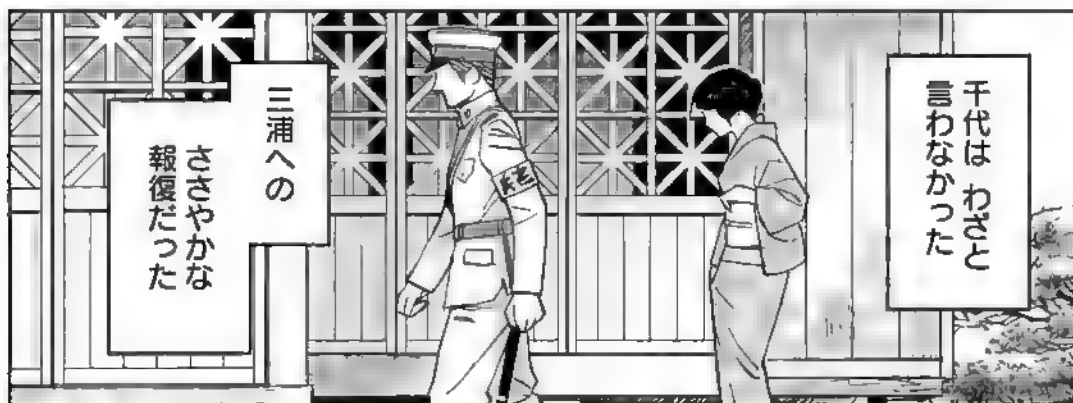
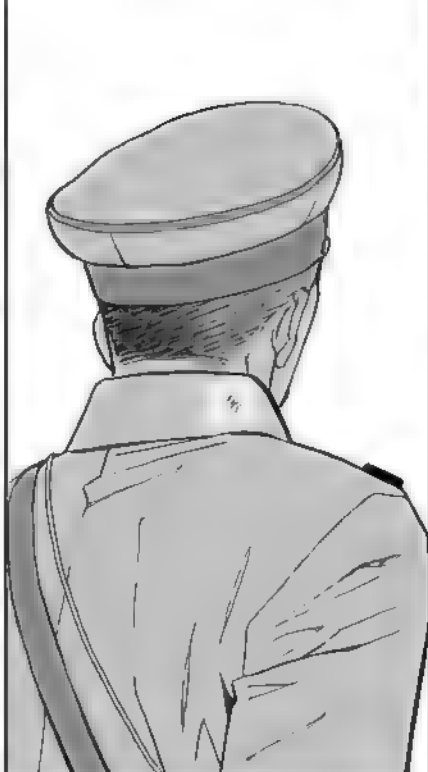
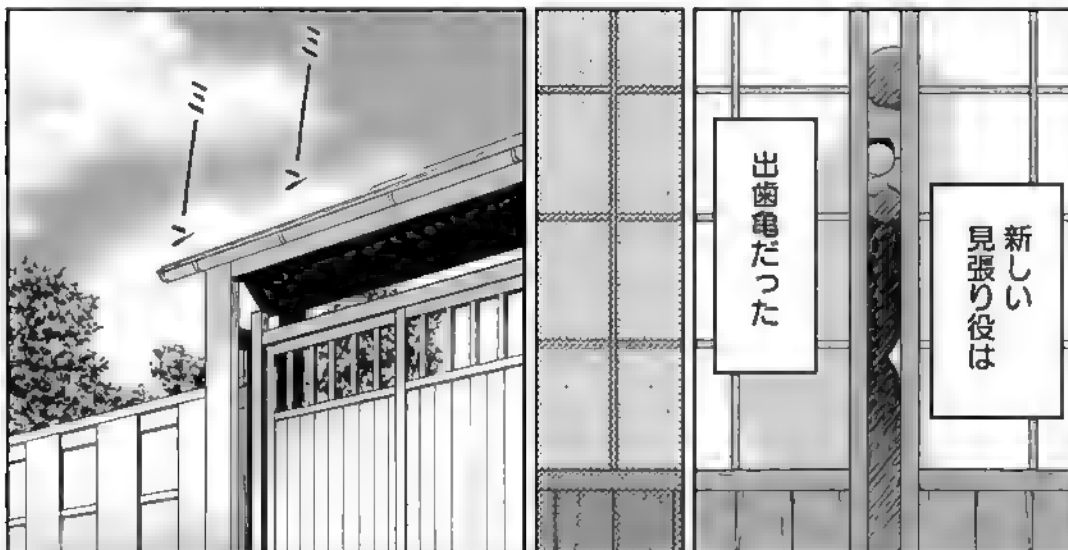
この辺は
爆弾 落ちなかった みたいね

ザッ

三浦さん…

これは一時の気の迷いです
どうか なかったことに

三浦の
首の後に
千代の
紅の跡
千代は わざと
言わなかった
三浦への
ささやかな
報復だった
次の日から
三浦は
千代の家に
来なかった

なんだ
千代
おまえまで
こんな無粋な物
着おって
でも旦那さま
いざという時は
モンペのほうが…
あ
全部脱げ!!
こうして
やる
この
売女め!!
くうっ
あ
んあ
はんっ

その月の 月命日

千代は 見張りの目を盗んで 家を出た

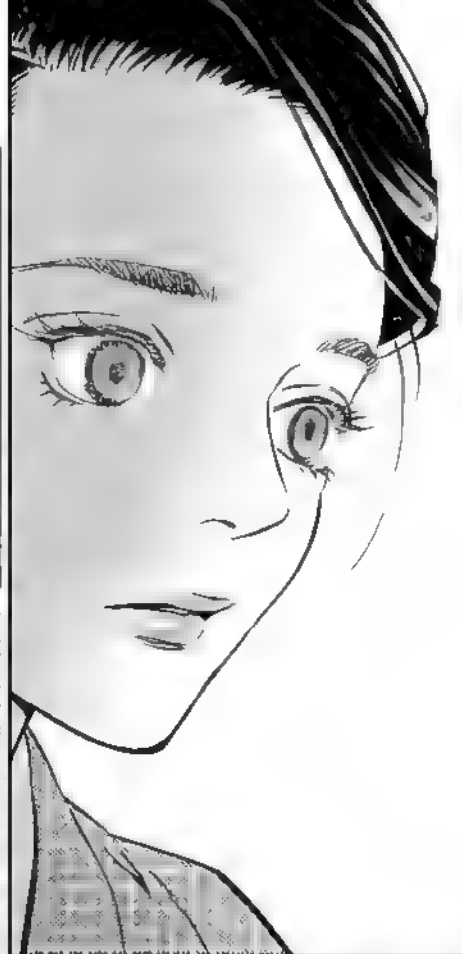
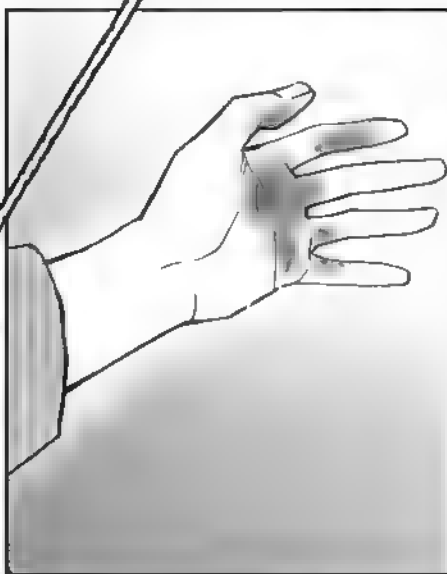
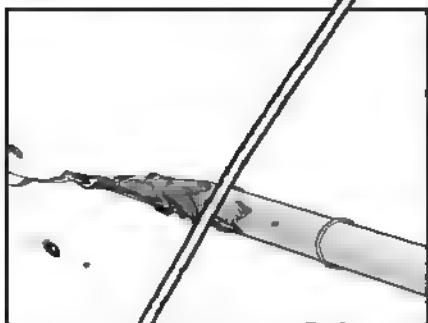
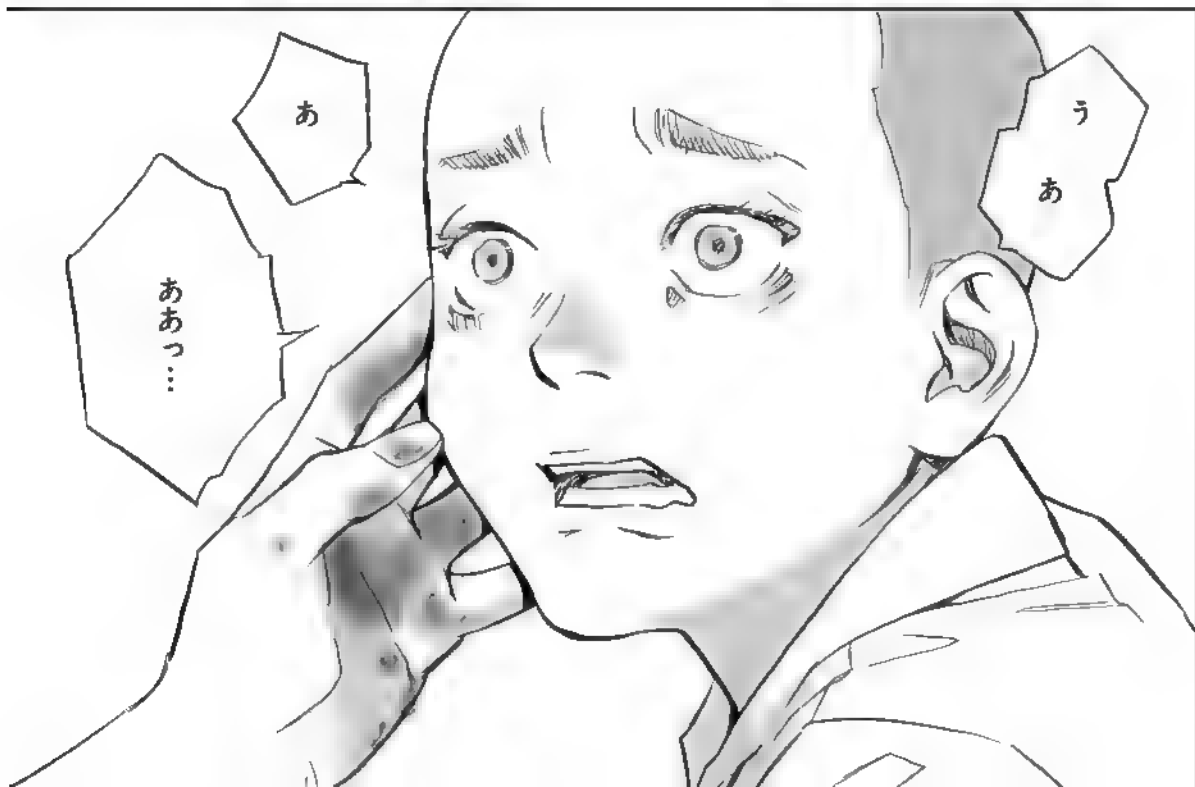
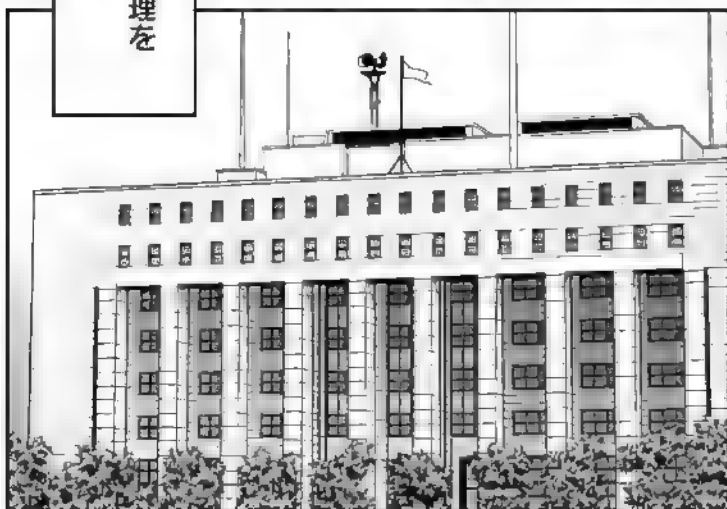
この売女!!
父は おまえの家に
行くようになってから
おかしくなった
母は泣いて
病気になった
全部
おまえの
せいだ!!

【売女】
そうか
あの男が
教えたのか…

ウ
空襲警報発令――
ウ
ウ
ああ
竹槍も役に立つのね…

落雁
美味しかった……？
あ
うあ
ああっ…

逃げて
あなたは
生きのびて
あたしは

ヒュ
あの子のところに
詫びに行く……
ウウウ

やがて
戦争が終わり
敗戦国日本に
アメリカ兵が
大挙して押し寄せ
戦後処理を
始めた

憲兵隊は廃止
憲兵のかなりの数が戦犯として検挙された

稲垣はGHQに連行される直前に服毒自殺
彼の世界は確かに終わった

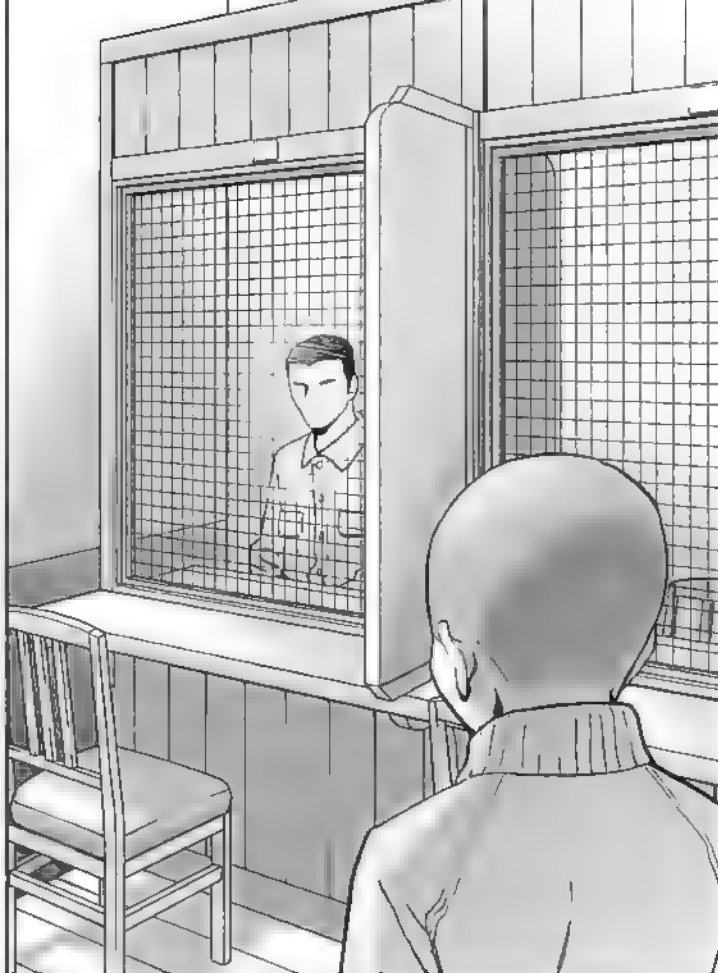
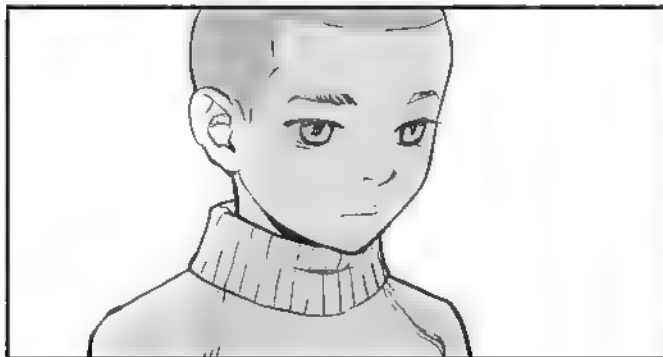
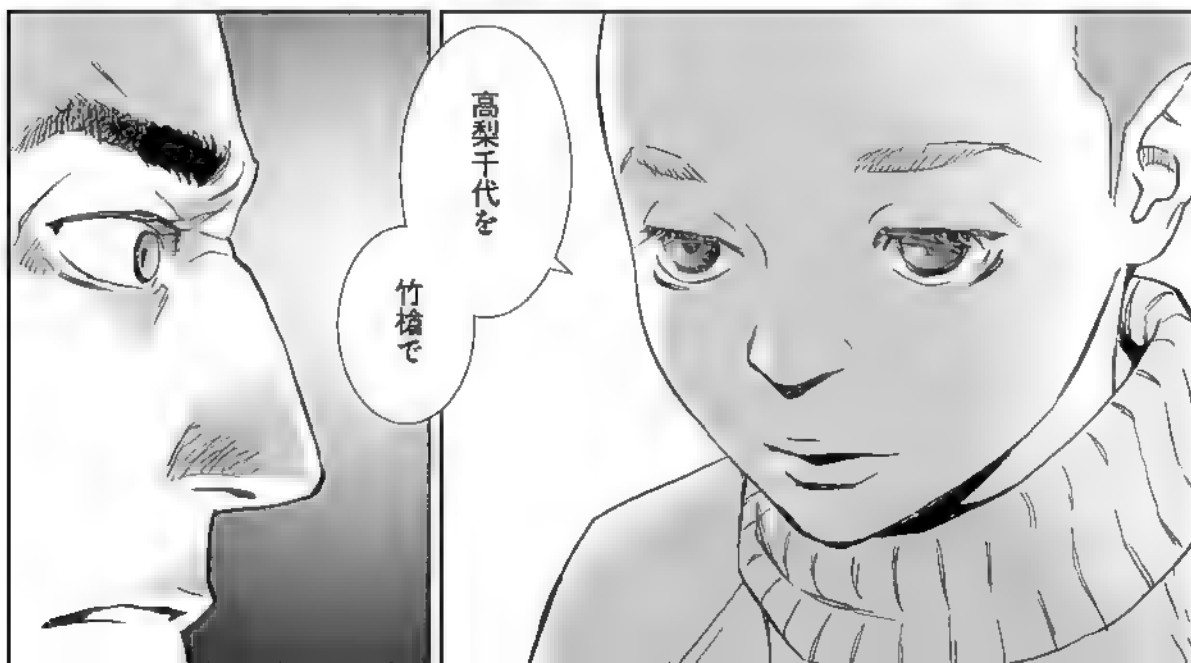
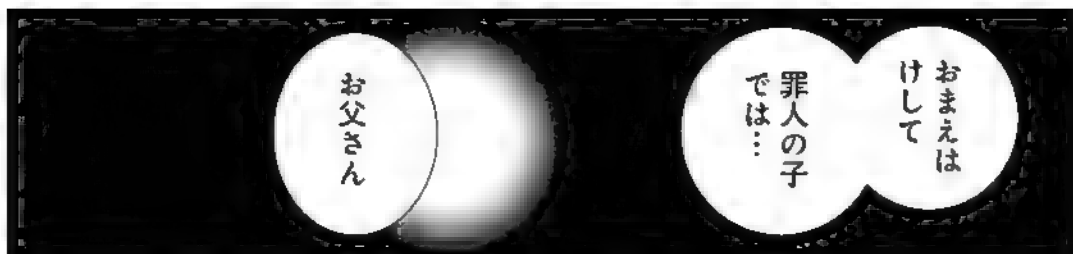
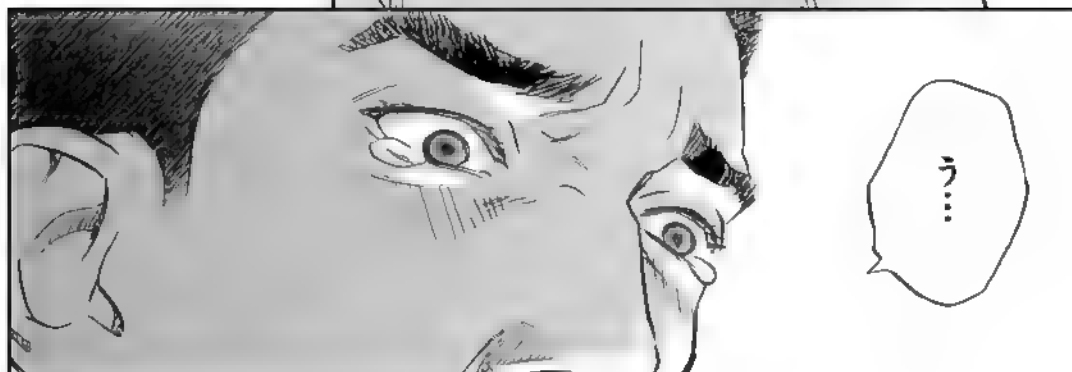
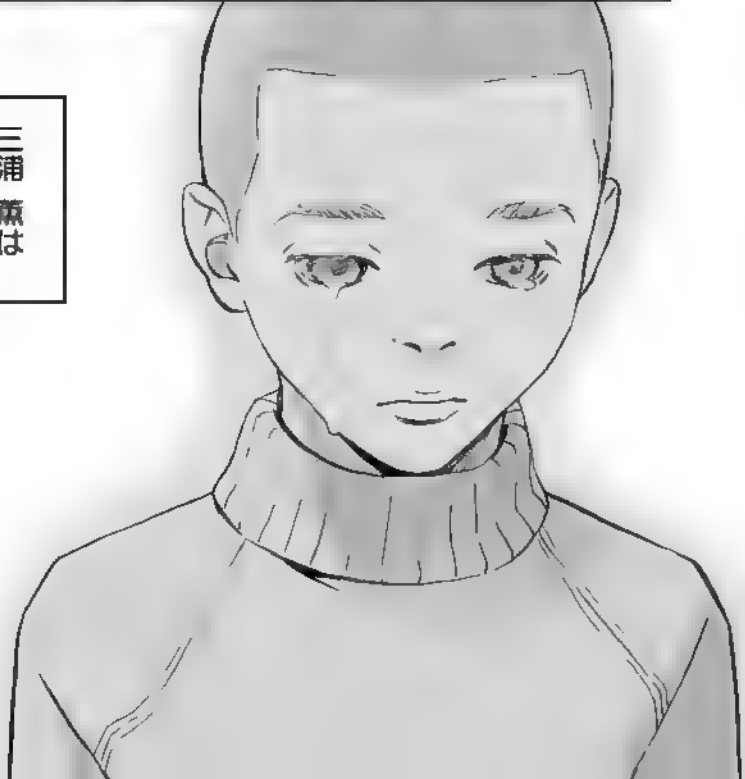
検挙された元憲兵たちは形ばかりの裁判を受け
そのほとんどに極刑の判決が下りた

SUGAMO PRISON
そして この男も…
入りなさい 一番奥だ
MP

よく来てくれた
久しぶりだな
薫

ガタ
新聞で見たと思うが
私はC級戦犯で死刑になることが決まった
これだけは言っておく
父は母を裏切ってしまったが
死刑になるような罪は何ひとつ犯していない

おまえは
けして
罪人の子
では…
お父さん
僕は
人を
殺しました
高梨千代を
竹槍で

おまえ…!!
ガタッ
彼女を刺した直後に
空襲があって
あの辺一帯が
丸焼けになって
彼女の遺体は
どれがどれだか
わかりませんでした
お父さん
なぜ
罪のない
あなたが
死刑になって
人殺しの僕が
生きなくては
ならないの
でしょうか
う…

あ
あぁ
うあー…っ
三浦 薫は
母方の祖父に
引き取られ
昭島(あきしま) 薫と
なった

落雁の甘さ

人を刺した時の

手に伝わった弾力

血の暖かさ

すべてを包み込むような

笑顔

それらが
すべて
エロスの種子を育む
要素となって
この先
永く
この男に疼きを
与え続けることになる
エロスの種子❷(完)

エロスの種子

あとがき

『エロスの種子』2巻のお買い上げありがとうございます。

今回巻末に少し余裕があったので 1巻の発売時に
グランドジャンプPREMIUMに掲載された桜木紫乃さんとの
対談記事を収録しました。
顔出しはNGにしたかったけど桜木さんだけというワケにも
いかず思い切って…いやお恥ずかしい…。

これきっかけで桜木さんと仲良くさせていただいております。
実は『ラブドール』は桜木さんからのリクエストでして。
それまで存在は知っていたラブドール、いろいろ調べてみると
実に興味深い。
面白いモチーフを得て自分でも納得のお話ができたと思います。

作品作りについてのエロスや時代背景、地元あるあるの話
桜木さんと会うといつもあっという間に時間が過ぎてしまいます。
初対面の時から話題が尽きませんでした。
そんな対談を楽しんでいただけたら嬉しいです。

勢いが止まらない!!! 祝! コミックス「エロスの種子」大ヒット記念企画

桜木（以下、㊔）昔から小説も漫画も好き――という50代の私が何のストレスもなく気持ちよく読める漫画がもんでんさんの作品なんです。

もんでん（以下、㊕）嬉しいです！　ありがとうございます。

㊔　実はコミックス『エロスの種子』1巻の発売日（2017年）4月19日は私の誕生日で（笑）。もんでんさんの作品なら『アイスエイジ』しかり、いやぁ～面白いわと思って。『エロスの種子』は1話が40～50ページ前後の短編4本ですよね。脳的体力使いますでしょう？　私は特に体力のない書き手なんですが、『エロスの種子』は小説でいうと原稿用紙80枚から100枚の一番、腕を試される枚数を4本揃えたぐらいの体力が必要だろうと。長編とは全く違う脳筋肉と体力の使い方をされておられるんじゃないですか？

私はもう断然『ホテルローヤル』に、まずやられましたから。

㊕　そうですね。長編も好きなんですが、短編は一瞬でバン！と出てくる気持ち良さみたいなものがあってやり甲斐があります。まずプロットとしてネタ出しし、その時点ではディテールや肉づけはまだ決めていませんが、本シリーズは基本的にあらかじめオチまでを決めた状態で描き上げました。

㊔　嘘のない嘘って言うのか、虚構なんだけど嘘がないっていうのか。これは私も短編を書くとき悩みまくって必死です。

㊕　漫画は物語を絵にしますから絵自体でリアルなものを見せなきゃならない。であれば現代よりも一昔前の時代背景の方が想像の余地もあるので、いくつかをそんな設定にしました。1巻にはストリッパーの物語（第四話～マリーゴールド）もあるんですが、実は私、ストリップ自体観たことがないんですよ。

㊔　え？　それ信じられないですよ。今回拝見して、絶対通っておられただろうと思ってましたし。どうやってあそこまで調べたんですか？

㊕　プロットを作ったのが2年ぐらい前で、そこから地味に資料を集めました。ネットでいい本があるなと思っても絶版だったり、電子の資料もなかったりして。だから資料を見つけた時は即買いみたいな感じで。

㊔　言ってくださればそこそこ揃ったのに（笑）。

㊕　（笑）。絶版になった資料には興味深い本もいっぱいありましたが全然手に入らなくて。どうしてもステージの空気感だけは分かりませんでした。でも、

※【アイスエイジ】臨時の英語教師として赴任してきたのは元フリージャーナリストの不破エイジ。問題山積の学校でエイジは生徒や他の教師と関わる中、徐々に高校生の心を溶かしていく。

桜木先生の『裸の華』は重要な資料になりましたよ。

※『裸の華』舞台での大怪我が原因で引退を余儀なくされた人気ストリッパー。故郷で自分の店を開くことを決意した彼女のもとに、2人の若い女性ダンサーが現れる。師匠から弟子へと伝えられる、「踊り子」としての矜持。

(桜) "先生"、要りません(笑)。

(も) 桜木さん(笑)! 私はもう断然『ホテルローヤル』にまずやられましたから。直木賞を受賞されたのが北海道出身の方だと知り、嬉しくて、読んだら即ハマっちゃって。

※『ホテルローヤル』ホテルだけが知っている、やわらかな孤独。湿原を背に建つ北国のラブホテル。閉塞感のある日常の中、男と女が心をも裸に互いを求める一瞬。そのかけがえなさを瑞々しく描く。

(桜) ありがとうございます。

(も) 世界観が微妙に繋がってるところも好きで。『裸の華』には知られざるストリッパーの内面の気持ちが書かれてあるから「これは読まなくちゃ」と。あの世界に愛着を抱く人たちが登場する話でしたので、私自身、すごく自信を持って描けるかなと思ったんです。

(桜) 何かお役に立てたとしたらすごく嬉しいです。私がストリップへ通い始めた頃、新人さんが舞台に上がってて、私は一番前のかぶり席で観るわけですよ。すると目が合うんです。ある日、踊り子さんに一回だけ「嫌じゃない?」聞いたことがあって。すると「大丈夫、誰であっても惚れさせますから」って言ったの。

(も) カッコいい!

(桜) あの言葉はずっと残ってますね。男前な女性ばかりです。目の前で足開こうが向こうはびくともしません。最も、私も足と足の間を観に行ってるわけじゃないので。そこのフレイヴァーが『エロスの種子』にも描かれてあるんですよね。

「もんでんさんに流れていくのは必然だって気がするんです。」

(も) ストリップ、行ってみたいな。

(桜) 踊り子さんは達観してますよ。嫌ですとか駄目ですという言葉はなく、何でも「はい、分かりました」なんです。イエス・ノーで言うならノーの文字はない。1ステージ終わった後にポラロイドショー、今はデジカメショーなんですけど、1枚500円で好きなポーズを取ってくれます。踊り子さんはにっこり笑ってるのに、"そこ"しか撮らないおじさんとかいるんですが、それでも笑って足を広げてる。それを観て「こうじゃなきゃ」と思いながら、そこから知り得た人間の粋な部分を咀嚼して作品に生かしたくて。踊り子さんを観る度に、ステージを観る度に、何かこう己の背骨を立ててもらうといいますかね。

「実は私、ストリップ自体観たことがないんですよ。」

も　深い話ですね。

桜　「エロスの種子」の中のお話において、エロスと定義するのはむしろ読む側であって、描き手としては大上段に〝エロス〟だとは思ってないでしょう？　みんな切実なものを抱えて生きており、仕方なく己の身体と今の状況との折り合いを付けていかなきゃならない人ばかりが出てくる。そこが〝エロス〟の成分にもなっているので大好きなんです。

も　設定的にはちょっと時代がかった方がキャラクターを追い込みやすいんですよね。今はモノが溢れてますから現代の設定でキャラクターを追い込むのはなかなか難しくて。

桜　物語の置き場所が例えば昭和30年代になってしまうのもすごくよくわかります。高度成長期で時代がどんどん変わっていく中で生きるのに精いっぱいの人たち。

も　我々の年代だと、子供の頃の空気感って覚えてるじゃないですか。だからすごく懐かしく描けたりしますよね。私の場合、ネタは出来ても肉付けしてリアルに作っていく下描きの前のネームの段階がすごく大変でした。自分で「この作品は面白い」と思って入っていかなきゃだめですから。第四話～マリーゴールドはなかなかそこに入っていけなかったところ、『裸の華』を読んで導かれた感じがありました。

──桜木さんの漫画の体験は？

桜　好きな傾向は偏ってるかもしれませんが、世代的に池田理代子さん、里中満智子さん、和田慎二さんらで育っています。それで、もんでんさんに流れていくのは必然だって気がするんです。

も　いやいやいや。他にもいっぱい美しい川は流れていますから(笑)。でも漫画を読むのは確かに現実逃避になりますよね。

桜　当然です。ここのところ、寝る前に漫画を読むことを自分に許すようになったんですが、それは書評家の川本三郎さんがエッセイに「寝る前には漫画を読む」と書いておられて。あれだけ仕事としてずっと本を読んでおられる方が寝る前に漫画を読みリラックスするんだと知ってから、「よし、私も漫画を読んで寝よう！」って。

も　それ、おいくつぐらいの時ですか？

桜　ここ数年です。寝る前にそういう時間を自分に許すといいますか。休みの日に漫画を読みあさるとか読みふけるとかはあっても、1日の終わりに漫画を読んで寝ていいんだって。そういうご褒美を自分にあげていい

んだって。私にとって漫画は立ったアンテナを少しだけ鎮めてくれるものかも。文章を考えなきゃいけないのに漫画の好きなセリフと好きな絵で1日を終えられるなんて、どれほど幸福なことか。

私、漫画で何が手抜きかというのは具体的には分からないんですが、もんでんさんが執筆に手を抜かない人なんだということは伝わってきますね。ある部分を描くことによってリアルさを強めたり、後ろ側にあるモノを描くことによって、前側にあるモノを引き立てたり。それは私たちの、文章を削ったことによって描かれないモノを引き立たせたり、セリフでは表現せずにあえて地の文で書く等の妙なこだわりのようなものと言いますか。『エロスの種子』で驚かされたのは、僭越ですが何処も彼処もしっかりと描き込まれていたことです。

(も) ありがとうございます！ あれらの話は時代モノなのでディテールで嘘をつけなくて、ディテールでそれっぽく表現したかったんです。テレビだの電話だの食べ物とかお茶わんとか。

――リアリティーを表現するテクニックってありますか？

(桜) 自分は主人公じゃない。

(も) 俯瞰で見る。

(桜) 短編は特にそうですけども、大上段に自分の考えを書かない。やはり俯瞰で見ますよね。もんでんさんのエロスの視点はどの辺りに置いていらっしゃるんですか？

(も) 物語やキャラクターを引いて離れて見てる感覚です。完全に俯瞰になれるようになってからは、お話作りが面白くなってきました。徐々にですが、「こんな話が描きたい」というビジョンが見えてきて形になったのが『エロスの種子』かなという気がしています。私、二十歳デビューだから34年やってる計算ですね。長(笑)。

(桜) 34年ずっとやってこられたなんて大変なことです。だって私、これでお金もらえるようになってから、まだ10年少々ですから。でも、書いてて面白くて面白くてしょうがない時ってありますよね。物語が出来上がっても誰も読まなくてもいいやって思うときがあって、そういうときって成功してる気がするんです。

(も) 私、そういうときはもう早く誰かに見せたくてしょうがないって感じです(笑)。

(桜) そっかぁ。

「嘘のない嘘って言うのか、虚構なんだけど嘘がないっていうのか。」

(も) やっぱりキャラクターの力というか魅力、そして、そこに

キャラが存在しているリアリティーは大事ですね。

㊕ 描く側が楽しんでるかどうかも結構、出来不出来に関係があるのかもしれませんね。

㋲ 特に絵に関しては気持ちが如実に表れるので。

㊕ 出ますか。

㋲ 嫌々描いてたら出ちゃいますね(笑)。桜木さんの場合、子育てと並行して小説家でデビューし、書き続けられるっていうのは、今の若い人にとっても励みになる感じがするんですよ。私の場合、今後も切れ味の鋭い短編が描きたいなって。「ここにきたか！」っていうオチを考えるのがすごい楽しくて。

㊕ 『エロスの種子』は、入りからラストまで唸ることの連続。私たちが一番体力を使うのは制限内の枚数で絶対無駄なことをすまいという気持ち。それを課してやらないと原稿用紙100枚って書き切れないです。

㋲ 長いこと描いてきたから自分のテンポみたいなものってあるじゃないですか。無駄なものはすごく見えるから、そこをどんどん削いでいき、無駄のない形の一本の短編を作る快感みたいなものを覚えちゃったら「これは止められん！」みたいな(笑)。

㊕ なりますよね。今、30枚でまとめ上げる勉強をしてるんですけど、30枚ピタッと収まったときの快感ときたら格別で。絵にしたらどのくらいの量なのか分かりませんが、30枚って書けるようで綺麗に収めるのは難しい枚数なんですよね。30枚だから問題ないだろうと思ったら大間違いで。

㋲ きっと、文字の30枚って感覚が違うんでしょうよね。過不足なくが難しいですよね。

㊕ そうなんです。『エロスの種子』は一本一本が読み応えがあるから気持ちがいいんですよ。……なんてえら

「完全に俯瞰になれるようになってからは、お話作りが面白くなってきました。」

もんでんあきこ Akiko Monden

漫画家。9月13日生まれ。83年、「週刊マーガレット」でデビュー。洗練された圧倒的人物描写はため息モノであり、読者以外に、同業者からの評価も高い。青年誌は勿論、女性誌からBL、はたまた小説、映画のコミカライズに至るまで幅広いフィールドで読者を魅了する。代表作は『エロスの種子』、『アイスエイジ』、『女衒夜話』、『竜の結晶』、『雪人(YUKITO)』等、多数。

「漫画の好きなセリフと好きな絵で1日を終えられるなんて、どれほど幸福なことか。」

そうにこんなことを言っていいんですかね。

(も) 嬉しいです(笑)。でもホントにね、面白い話って読み終わったあとにスカッとするじゃないですか。どんな悲しいことでもスカッと。

(桜) 第三話〜ジゴロ(1巻収録)では、母親の愛人がはめられる話でしたが、あの作品であそこに落とすのは最初から決めてるんですよね？ 私、ホント、どこに連れていかれるか分からなかったので「そうきたのか〜」と思って。

(も) どうやってはめるかの手段として、主人公の男とやっちゃったときに強姦罪にするという演出も決めていて。

(桜) 決めてたんだ。それは思いつかない！

(も) ただ、ベッドシーンに持っていくまでが難しくて。そんなに安易にその子を抱いちゃうような男だと魅力ないじゃないですか。だから、いかに抱かざるを得ないみたいな流れの段取りを考えるのが難しかったです。

(桜) 段取りですよね。どうしても書きたいシーンがあったら、そこに持っていくまでの我慢がいるから。

(も) そうなんです〜

(桜) あれはよかったです。パッとページを開いたときに、彼女がすごく綺麗になっていて「花が咲くように美しくなるとはこのことだろう」っていう素晴らしき演出で。

(も) その花が毒の花っていう(笑)。絵的に彼岸花をしょった少女ってどうなんだろうとも思ったんですが、最初から毒の花のモチーフを出しちゃったから、あそこでバラの花にするわけにもいかず(笑)。

(桜) バラだとまた違うんでしょうね。

(も) 違いますよね。

(桜) ともかく「やられた」の連続でした。ストーリーにおいては漫画と小説の境目って、もう何もないような気がするんです。

桜木紫乃 *Shino Sakuragi*

小説家、詩人。4月19日生まれ。作品の舞台はほとんどが北海道。淡然たる視点で包括的に描き出された物語は読者にざらついた"痛え"を与える。02年、「雪虫」で第82回オール讀物新人賞受賞。05年、「霧灯」で第12回松本清張賞候補。12年、「ラブレス」で第41回釧新郷土芸術賞受賞。13年、同「ラブレス」で第19回島清恋愛文学賞受賞。「ホテルローヤル」で第149回直木三十五賞受賞。

※本対談は2017年グランドジャンプPREMIUM5月号に掲載されたものを再構成したものです。

「増刊グランドジャンプめちゃ」H29年11月29日号、
「グランドジャンプPREMIUM」H30年1月号～5月号に、好評掲載されたものを収録しました。

エロスの種子

２巻

もんでんあきこ

初版発行　　　　2018 年
デジタル版発行　2018 年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。